

選定委員会の教科用図書採択に関する意見

諮 問

和 教 研 第 1 0 0 号
令 和 5 年 5 月 8 日
(2 0 2 3 年)

和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校
教科用図書選定委員会

和 歌 山 市 教 育 委 員 会
教 育 長 阿 形 博 司

令和6年度に和歌山市立小学校及び義務教育学校前期課程で使用する教科用図書の選定
について（諮問）

令和6年度に和歌山市立小学校及び義務教育学校前期課程で使用する教科用図書の選定について、理由を添えて次のとおり諮問します。

1 諮問理由

教科書は、学校における子供の学習用として供されるものであり、市が育てたいと願う子供の像を実現するために重要な役割を果たすものです。

そのため、教育委員会は、教科書の採択権者として市の子供の実態に鑑み、教育基本法及び学習指導要領に示された内容を踏まえ、確かな学力を身に付け、豊かな人間性を育成するための教科書を責任を持って採択せねばなりません。

このことを踏まえ、選定委員会では、教科等の指導についての高い専門的見地から、又学校教育に対する保護者の立場から、育てたい子供像を共通理解しながら、すべての教科書について調査研究のうえ、内容についてご審議いただきたいと考えます。

具体的には、次の総合的な観点から、又教科ごとの指導内容に即した観点についてご審議のうえ、答申をいただきますようお願いいたします。

- (1) 和歌山市教育委員会「学校教育指針」に示す「めざす子供像」の実現
- (2) 教育基本法及び学習指導要領に示されている教育の目的・目標等の実現
 - ①教育基本法で明確にされた教育の理念を踏まえた「生きる力」の育成
 - ア 知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現をめざす自立した人間の育成
 - イ 公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民の育成
 - ウ 我が国の伝統と文化を基盤として国際社会を生きる日本人の育成
 - ②知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等のバランス
 - ③豊かな心・健やかな体の育成
- (3) 教科の指導内容に即した教科書会社ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な審議

答 申

令和5年7月11日

(2023年)

和歌山市教育委員会

教育長 阿形 博司 様

和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校

教科用図書選定委員会

委員長 横町 真紀

令和6年度に和歌山市立小学校及び義務教育学校前期課程で使用する教科用図書の選定について（答申）

令和5年5月8日付和教研第100号において、和歌山市教育委員会 阿形 博司 教育長から、令和6年度に和歌山市立小学校及び義務教育学校前期課程で使用する教科用図書の選定についての諮問がありました。

これを受け、和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会は、教科・種目ごとのすべての教科書について調査研究を進め、同月8日から5回にわたり審議を重ねてきました。

については、ここに、審議結果を「令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申」として取りまとめ、「令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料」を添えて答申します。

各教科・種目
答申及び答申資料

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
国語	新編 新しい国語	東京書籍
答申		
<p>各単元の「言葉の力」で学習のポイントを明記し、確かで豊かな言葉の力を付けるために何をどのように学ぶかをスモールステップの構造で明確に示している。デジタルコンテンツを多く取り入れ、言葉を通して現代的諸問題や情報を扱う力の獲得を目指している教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の扉は、見開きの2ページ全面に挿絵と詩を載せ、言葉の美しさに学習意欲が注がれる。 ・巻頭の「言葉の力を集めよう」の2ページに、単元別に「話す・聞く」「読む」「書く」内容を示し、1年間の学習の見通しができるようになっている。 ・巻頭の「国語ノートの作り方」及び「デジタルノートの作り方」は、思考や話し合いの一助となっている。 ・巻末の「言葉の力のつながり」で、それぞれの単元で育成したい「話す・聞く」「書く」「読む」力を明確にしている。例えば、5年物語・伝記の5つの「読む」単元には、つけたい言葉の力として「音読する」「場面に着目して読む」「表現に着目して読む」「人物に着目して読む」「感想や考えを持つ」と記している。 ・全学年で、4人の子供のキャラクターと2人のマスコットキャラクターが随所に登場し、単元のねらいや学習のヒントとなる意見や疑問を投げかけて、課題を身近に感じ主体的に学習をすすめることができる。 ・学年はじめの学習は、「話す・聞く」の小単元となっている。 ・「話す・聞く」の単元では動画を視聴でき、単元導入や話し合い活動の際のモデルとして有効である。 ・「書く」単元の教材は、1、2年は身の回りの事柄や生活科と関連した教材であり、3、4年は他教科や他領域との関連を重視した教材である。5、6年は、資料を活用したり条件をつけたりした意見文を書く教材がある。「書く」単元の教材も動画を視聴できる。 ・「読む」の単元の冒頭には見開きの2ページで扉のページがあり、単元の目標と作品へ誘う文で学習意欲を高められるようになっている。学習の流れは、「見通す」「取り組む」「ふり返る」というスモールステップ式の学習の流れが確立されている。特に「取り組む」の内容は具体的で丁寧に示されており、指導の手順が分かりやすい。教材は子供の身近にあるような現代的な内容もあり、意欲的に取り組めると考えられる。 ・「こんな本もいっしょに」では、同一作家の作品や関連した図書を紹介し、読書を薦めている。 ・平和教材は、4年物語教材「一つの花」、5年伝記「手塚治虫」の主人公の戦争体験の記述がある。6年巻末付録の物語教材「ヒロシマのうた」は冒頭が掲載されており、続きは二次元コードを読み取るデジタルコンテンツで読めるようになっている。 ・説明文教材は、1年から6年まで全学年の下巻において、「書く」活動につなげている。教材は日本の伝統的文化やSDGsの17の目標等である。 ・ローマ字の学習は3年上下巻で合わせて8ページ扱っている。下巻では、「キーボードで入力してみよう」があり、キーボードの使い方を動画で視聴することができる。また、ローマ字の表は3年以上の全学年の下巻末に載せている。 ・2年から6年に掲載の「未来を生きる君へ」は、将来の自分の姿や次学年への繋がりを意識した魅力ある教材である。 ・単元の導入に活用できる動画や漢字の練習問題等のデジタルコンテンツが充実している。特に1年上巻では動画を多く取り入れ、音声情報だけでなく視覚的にとらえながら学習できるようになっている。各学年とも個に応じた指導やオンライン学習にも対応でき、教師の負担軽減にも繋がると考えられる。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
国語	ひろがる言葉 小学国語	教育出版
<p>答申</p> <p>子供たちの身近な問題や、現代社会に向き合う教材を通して、多様で活発な言語活動に取り組み、他教科や実生活で生かせる言葉の力を身に付けることができる。学習ステップを手引きに、子供が主体的に取り組むことができる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の扉は、全学年上下巻とも（1年は下巻）教科書のタイトル名と同一の「ひろがる言葉」が織り込まれた4行詩を掲載している。 ・巻頭の「〇年生で学ぶこと」で、「話す・聞く」「書く」「読む」内容と、「言葉の広場」「漢字の広場」「言葉の文化」「読書の広場」を3ページにわたり示している。 ・ふくろうと6人の子供のキャラクターが、単元のねらいや学習のヒントとなる意見や疑問を投げかけ、単元の目標に導いている。 ・学年最初の単元は、「話す・聞く」「書く」「読む」を網羅した小単元になっている。 ・「話す・聞く」の単元は、3、4年では「読む」や「書く」に繋げた単元構成にしている。また、5年はダイアログ形式、6年はパネルディスカッション形式の学習を設定している。 ・「書く」の単元は、1、2年は生活科に関連した教材が扱われている。3、4年は、社会科や総合的な学習の時間に関連し、地域の方へのお礼や招待の手紙、報告書、リーフレット等を作成する活動があり、他教科とつなげて取り組むことができる。5、6年は、説明文の学習後の「書く」活動や、12才の主張と題した意見文を作成する活動がある。発達段階を見据えた単元と学習活動が配置されている。 ・「読む」単元の冒頭には扉のページがあり、単元の目標と作品に関わる一文を示している。 ・「読む」単元の末尾には、「たしかめよう」「くわしくよもう」「まとめよう」「つたえあおう」の順に学習の手引きを示し、下段には、キャラクターのふくろうや子供たちが会話をする形で、学習の手引きに対する考えの例を示している。また、「ふり返ろう」では、観点を具体的に挙げてチェックできるようになっている。さらに、「ここが大事」のコーナーでは、単元の目標に対して学習の重点を示している。「言葉をふやそう」では、その作品中の言葉にかかわる学習ができ、語彙の習得を意識している。読み物教材の学習後には、同一作者の著書や関連図書を紹介している。 ・平和教材は、4年物語教材「一つの花」と6年物語教材「川とノリオ」がある。 ・3、4年の説明文は2教材掲載されていて、一つ目の教材には、単元のめあてに対する学習の手引きを上下段に示してある。できた学習にはチェックを入れて達成感をもつことができる。 ・1年上の4月当初の学習は、自分の名前やひらがなを教科書に書き込めるようになっている。 ・3年上の「言葉の広場」において、「ローマ字とコンピューター」の単元を設け、キーボード入力の学習を取り入れている。 ・「話す・聞く」単元の資料として、点字表を載せている。 ・6年下では、卒業に向けての文集や残したい言葉を書く教材や、伝記の学習「津田梅子—未来をきりひらく「人」への思い」など、生き方を見つめ、自分の未来について考える学習活動があり、中学校へ希望をもって進むことができる有意義な単元となっている。 ・デジタルコンテンツ「まなびリンク」は、作者及び筆者の情報やNHK for Schoolの動画資料を視聴することができ、確かな学びにつながる。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
国語	国語	光村図書
答申		
<p>各学年とも系統的に多様な取り組みができ、様々な言語活動を通して豊かな言葉の力が子供たちに育めるように編集されている。教材は各学年の発達段階に応じて学習意欲を喚起させる教材が多く、子供たちの主体的な学習を企図した教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の扉は、各学年の教科書タイトル名と同名の詩を載せている。例えば、2年上は「たんぽぽ」、6年は「創造」であり、学年に合ったあたたかい詩で始まっている。 ・各学年上巻の巻頭に「〇年生の国語の学習で、できるようになりたいことや、楽しみな学習を書いておこう」のページがあり、学年当初の意欲や目標を教科書に書き込んでおける。また、巻末には「〇年生をふりかえて」のページがあり「こんな力がついたよ」「こんなときにいかそう」を書く欄がある。1年間の国語の学習を振り返ることができる。 ・巻頭の「〇年生で学ぶこと」で、「話す・聞く」「書く」「読む」の内容と、知識及び技能の内容を「言葉の使い方」「受けつがれてきた言葉」「情報」「読書」に分類して5ページにわたり示している。「前学年で学んだこと」も下段に載っている。 ・学年はじめの学習は、「話す・聞く」「書く」「読む」のそれぞれの小単元となっている。 ・「話す・聞く」の教材は、各学年においてグループ活動を多く取り入れている。1年は「話す・聞く」から「書く」に繋げる単元がある。2年から4年はグループ活動から発表形式の学習へと発展し、5、6年は、グループ活動からスピーチ形式へとつながるように構成されている。 ・「書く」の教材は、1、2年では生活科に関連した教材を用い、3、4年では地域の人やことに対して書く活動を行うように設定している。5、6年では、みんなが使いやすいデザイン（ユニバーサルデザイン）や、歩きスマホの問題などを例に挙げて、発達段階に応じた教材を設定している。 ・「読む」の単元の冒頭には扉のページがあり、単元の目標と作品へ誘う文を示している。 ・「読む」の単元の末尾には、「見通しをもとう」があり、問いと目標が示されている。また、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」の順に学習の手引きを示し、下段には更に詳しく4つの手引きの具体例を挙げている。「ふりかえろう」では、具体的な項目を挙げて単元の振り返りができるようになっている。さらに、「たいせつ」のコーナーでは、単元の目標を達成させるための学習の重点を示している。「この本、読もう」では、同一作家の作品や関連した図書を紹介し、読書を薦めている。 ・1、2年の説明文教材は、教材に関連した事柄を書く活動があり、「読む」学習から「書く」学習につなげた単元構成になっている。また、3～6年の上巻の説明文教材は2教材で1セットになっており、一つ目の教材には「練習」と明記している。二つの教材を学習することで、その単元の目標を達成することができるようになっている。 ・平和教材が充実している。3年は物語教材「ちいちゃんのかげおくり」、4年は物語教材「一つの花」、5年は物語教材「たずねびと」と伝記「やなせたかしーアンパンマンの勇気」がある。伝記は主人公の戦争体験が綴られている。6年は説明文「平和のとりでを築く」を付録に掲載している。 ・物語教材、説明文教材共に長年親しまれた教材が掲載されており、多様な学習展開が期待できる。 ・5年「論語」や6年古典芸能「柿山伏」など、「伝統的な言語文化」の教材が多く掲載されている。古典教材はデジタルコンテンツによって音声や動画を視聴することができる。 ・ローマ字の学習は、3年上巻で5ページ扱っている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
書写	新編 新しい書写	東京書籍
<p>答申</p> <p>課題解決型の学習過程や話し合い活動を通して書く力を育み、学びを生活や他教科に広げることができるように企図した教科書である。左右の利き手に対応出来るように配慮し、重要ポイントを押さえた内容と理解しやすい紙面構成で、支援を必要とする児童へのきめ細かな工夫が見られる。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・「書写のかぎ」で学習のポイントを示し、「見つけよう」→「確かめよう」→「生かそう」→「ふり返ろう」→「生活に広げよう」という構成で見通しをもって学習を進めることができる。具体的には、①硬筆で「書写のかぎ」を発見し課題を共有する。→②毛筆で大きく書くことで確認する。→③硬筆で別の文字を書くことで定着を図る。→④振り返る。(自己評価をする。)→書写で学んだことを生活や他教科の学習に広げる。という展開で、毛筆の学習が硬筆で書く力の基礎となるように構成している。 ・学習の中で話し合う活動が設定されており(話し合いマーク)、主体的・対話的で深い学びにつなげることができる。 ・「ふりかえろう」の自己評価は、低学年では「わかった」の1項目、3年生以上は「考えた、分かった、書けた」の3項目で、学年に応じた評価内容によって達成感を得られるように工夫している。 ・表紙の見開きで書写への興味づけがされ、課題解決学習へとつながるよう工夫している。(2年 おかしなかんばん、3年 おかしな書きぞめ、4年 おかしな案内、5年 おかしなバースデーカード、6年 おかしなプログラム) ・鉛筆の持ち方や手の置き方の写真が実物大で、左右両方の利き手のものがある。運筆のページでも同様である(1年P4～7)。左利きの児童への毛筆用具の置き方を示している(3年P5)。また、硬筆の練習では、教材文字と書き込み欄を上下に配置し、左手で教材文字が隠れないように配慮している。 ・見開きページの同じところに同じ学習過程が配置され、支援を必要とする児童にも理解しやすい紙面構成になっている。 ・低学年では点画の書き方の特徴を動物の動きや「びたっ、すうっ、ぐうっ」などの擬態語及び擬音語を使って表現し、児童それぞれの理解の仕方に合うように工夫している。 ・挿絵や筆順では色を変えて表記するなど、カラーユニバーサルデザインも多く取り入れている。 ・毛筆では墨の手本の他に朱墨と薄墨による文字が配置されていて、穂先の向きや運筆を視覚的に捉えやすい。 ・3年生コラム「なぜ毛筆を使うの？」(P11)で、書写や毛筆学習の意義を意識できるように工夫している。 ・児童にありがちな課題の例を出発点にすることで、学びを自分事として捉えられるように工夫している。(1年P41、2年P20、3年P14・21、4年P10・32、5年P20・30、6年P12・30) ・「生活に広げよう」では、ノートや新聞、ポスターの書き方などの学びを他教科や学校生活に生かせるように工夫している。「リンクマーク」で他教科との関連を示している。 ・「文字といっしょに」では、国語科との関連教材や文字文化に触れ、伝統や文化を学ぶことができる。 ・「学びを生かそう」で1年間の学習をまとめている。また、はがき・手紙などの書き方、作品作りなどがある。 ・巻末には1年生から該当学年までの学習した内容をまとめた「書写のかぎ」を掲載している。 ・1、2年生の巻末に水書用紙が付いている。1年P10、2年P14で活用できる。 ・デジタルコンテンツの動画や資料では、筆使いなどを視覚的に学びやすいように工夫している。書写体操は歌付きの動画が見られ、楽しく体操ができる。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
書写	小学 書写	教育出版
<p>答申</p> <p>学習の流れが明確に示され、課題解決に向けて考える力や書いて伝え合う力を育めるように構成されている。書き方のこつや伝え合う楽しさを知り、習得した書写力を学校生活や学習活動に生かせるように関連教材を工夫している。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方が記載され、「つかむ・考える」→「確かめる」→「ふり返る」→「生かす・広げる」という構成で見通しを持って学習を進めることができる。具体的には、①硬筆や毛筆で試し書きをしよう。めあてにそった文字の書き方を知ろう。試し書きと教科書の文字を比べて気をつけることを見つけよう。→②めあてに気をつけているか確かめながら練習しよう。→③まとめ書きをして試し書きと比べよう。めあてに気をつけて書けたか友達と伝え合おう。→④学習した書き方を他の文字にも生かそう。というように、学習の流れが明確に記載されているので、主体的に学ぶことができる。 ・「試し書き」と「まとめ書き」を比べることで自分の課題が解決したところを伝え合い、友達の文字の変容を認め合う活動を大切にしている。(相互評価)「ふり返ろう」コーナーでは全学年「よくできた。できた。もう少し」の3段階評価で自己評価をすることができる。 ・硬筆では、手本の文字を指や鉛筆でなぞれるようにしている。(1年P10、P32)また、毛筆では、朱墨と薄墨を使う方法で穂先の動きが分かりやすいように工夫している。 ・運筆リズムを「とん、すうっ、ぴたっ」などの音声やキャラクターの動作で分かり易く表現している。3年生P14では、筆の穂先の向きを理解しやすいように時計の針に例えたイラストで表現する工夫をしている。 ・筆圧と線の太さの関係は、写真や音の表記を使っている。(3年P11) ・各学年の「レッツ・トライ」や「書いて伝え合おう」では、縦書きや横書きの教材をバランスよく配置して他の学習や生活の中で生かせるように工夫した内容となっている。また、「知っておこう」では手紙や封筒の書き方、季節のあいさつなどが掲載されている。 ・各学年の最後に「学習のまとめ」があり、学習してきたことの中からめあてを選んで書く活動を取り入れている。(1年P43、2年P35、3年P42、4年P42、5年P38、6年P34) ・「書写で使う言葉の例」(2年P19、4年P17)では、対話の場面を例示して伝え合う活動を支援している。 ・各学年の「知りたい 文字の世界」では、色々な文字に興味をもてるように工夫している。 ・鉛筆の持ち方や毛筆用具の置き方について、左利きの児童への配慮が見られる。(1年P6、2年P6、3年P7、4年P7) ・1年生では鉛筆と箸の持ち方を比べることで共通点と相違点を理解しやすいように工夫している。「鉛筆の持ち方の合言葉」は楽しく良い持ち方が身につけられるように工夫している。 ・1、2年生の巻末に水書用紙があり、白い線をなぞれるようにしている。単元名の下にある「水しょマーク」は、水書用紙を活用した学習方法を提示している。 ・5年生P8「練習用紙の作り方」では、自分の課題にあった練習用紙を作成する方法を掲載し、主体的な学習を支援している。 ・デジタルコンテンツの動画や資料では、筆使いなどを視覚的に学びやすいように工夫している。1、2年生の動画「えんぴつのもちかたのあいことば」では、無理なく楽しんで正しい鉛筆の持ち方ができるように工夫している。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
書写	書写	光村図書
答申		
<p>児童が主体的に課題発見・課題解決ができるように学習の流れを明確にし、場面や状況に応じて適切に書く能力を育めるように設定している。ネコのキャラクターでポイントを分かりやすく示して基礎・基本を身に付けさせるとともに、楽しく学習できるように工夫している。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方は、①考えよう。(整った文字を書くための決まりを見つけよう。)→②確かめよう。(書き方を確かめて毛筆で書こう。)→③生かそう(学習したことを生かして書こう。)という構成で、主体的に学べるようになっており、「ふり返ろう」で学びを確認できる。話し合い活動は学習全体の中で設定されている。 ・鉛筆や筆の持ち方、ひじの動かし方などをアップの写真やイラストとともに分かりやすく説明している。 ・キャラクターの動きや「とん、すー、ぴょん」などの擬態語及び擬音語、「ななめ穂先ちゃん」などでポイントを示し、鉛筆や筆使いを直感的に理解できるように工夫している。 ・硬筆、毛筆ともに左右の利き手の持ち方や用具の置き方を動画で見られる。硬筆の練習では左手で文字が隠れないように縦にマス目を配置している。また、大切なことがひと目で分かるシンプルで分かりやすいレイアウトで支援が必要な児童にとっても学びやすい紙面である。6年生P20ではユニバーサルデザインの筆記具を掲載している。 ・毛筆では朱墨の濃淡を使った文字や点画を提示し、穂先の動きや筆圧などが分かりやすいように工夫している。1年生P48や3年生P12に空書きの写真を掲載し、穂先の向きや書く時の動きを体感できる。 ・3年生では「小筆の使い方」について見開きの2ページに説明している。(P22、P23) ・4年生P21～24の「SDGsブック」では、書写学習を通してSDGsへの理解を深めることができるように工夫している。 ・5年生P12「手書きの力」は、東日本大震災の翌日に新聞社が発行した壁新聞が掲載されており、手書き文字には活字とはまた違った力があることを感じられる。当時の手書きの壁新聞6枚がデジタルコンテンツで見られる。 ・「字のなぞとき」に挑戦しようでは、整った文字を書くための決まりを考えさせる工夫が見られ、楽しみながら文字に親しみ学習することができる。(2年P12、P13、3年P40) ・各学年の「書写広げたい」では、学習したことを他の教科に生かせるように構成している。1年「横書きの書き方」(生活科)、2年「原稿用紙の書き方」(国語科)、3年「手紙の書き方」(国語科)、4年「横書きの書き方」(理科)、5年「英語で書いてみよう」(外国語科)、6年「パンフレットの書き方」(国語科)など。 ・巻末には各学年のまとめが掲載されている。まとめ①で一年間学習したことを振り返り、まとめ②で書く力が定着するように工夫している。 ・6年生では「書写ブック」として6年間に学習したことをまとめ、日常生活に広げていけるようにしている。 ・6年生「私の文字」として著名人の自筆の署名があり、自分の文字を振り返ることができる。(P44～46) ・「もっと知りたい」(3年P52、5年P9、P13、6年P29～P31)では毛筆用具や漢字のいろいろな書き方、文字の歴史などが記載され、文字への興味・関心を高めている。 ・「ことば」では、国語科と関連した教材を扱い、書いて味わうことができる。 ・水書用紙が1、2年生の巻末に付いている。1年生にマス目があり、1年P27、2年P27で活用できる。 ・デジタルコンテンツの動画や資料では、筆使いなどを視覚的に学びやすいように工夫している。書写体操と整理体操で書くための体づくりの動画が見られる。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会	新編 新しい社会	東京書籍
<p>答申</p> <p>4段階の学習のすすめ方を通して問題解決に至る学習過程が提示されている。また、児童が社会的な見方・考え方を働かせることができるポイントをキャラクターが示している。イラストや写真・図表がバランスよく配置され、色使いも美しく、見やすい紙面になっている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<p>○教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシアに不法に占領されている「北方領土」や、韓国に不法に占領されている「竹島」、中国が自国の領土であると主張する「尖閣諸島」に対する日本の立場を本文中に記載している。6年生の政治の学習の中で、国旗と国歌の成り立ちや意義を詳しく説明し、自国だけでなく他国の国旗・国歌も尊重する態度を育てようとしている。 ・江戸時代の身分ごとの人口の割合のグラフで、「百姓や町人とは別に、身分上厳しく差別された人々」を示し、明治の「解放令」、大正の「全国水平社運動」を経て、差別を受けてきた人たちが自らの力で差別をなくす運動をすすめてきたことを述べている。 ・「世界の未来と日本の役割」の中で、SDGsの達成を目指し、国際的な環境問題等について幅広く取り上げている。 ・歴史の学習で「ノルマントン号事件」「エルトゥールル号の遭難」を取り上げ、4年生では「地震からくらしを守る」で和歌山県と和歌山市の取り組みを見開きの2ページで紹介するなど、地域の教材を掲載している。 <p>○教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の4つの学習段階で問題解決的な学習展開を分かりやすく示している。また、「まなび方コーナー」や「まとめる」では活動内容を具体的に示し、多様な表現活動ができるように促している。 ・社会的な見方・考え方を働かせるための支援として、「広がり」「時間」「関係」「比較・分類」等について、キャラクターが学習の手掛かりになるポイントを示している。 ・写真やイラストがバランスよく配置され、児童が興味をもって学び進めることができるよう配慮している。 ・「ひろげる」で、発展や補足的な内容を取り上げることで、学習展開が広がるように配慮している。 ・様々な分野で仕事をする人を登場させ、専門的な話や苦勞、工夫についての話等を通して、その人の生き方にふれ、学習内容を児童の身近なものに引き寄せることができるように配慮している。 ・二次元コードを読み取って見ることができるデジタルコンテンツで、単元の導入動画を見たりワークシートやクイズを活用したりすることができるようになっている。 ・児童が使いやすいように、5年で上下分冊、6年では政治・国際編と歴史編に分冊している。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会	小学社会	教育出版
<p>答申</p> <p>「この時間の問い」が示され、問題解決に至る一貫した学習過程を重視している。単元の導入では、大きく見やすいイラストや写真・図表を示し、児童が興味・関心をもつことができるように工夫している。選択教材や発展教材が掲載され、地域・学校の状況に応じて活用することができる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<p>○教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシアに不法に占領されている「北方領土」や、韓国に不法に占拠されている「竹島」、中国が自国の領土であると主張する「尖閣諸島」に対する日本の立場を本文中で紹介している。また、現代的な課題として北朝鮮の拉致問題・ミサイル問題、沖縄の米軍基地問題にも言及している。 ・江戸時代の身分ごとの人口の割合のグラフで「公家・僧・神官、百姓・町人とは別の身分とされた人々など」とまとめて示している。差別されてきた人々が明治の「解放令」、大正の「全国水平社運動」を経て、差別をなくす運動に取り組んできたことを記載している。 ・公害の防止や環境保全の取り組みを紹介し、環境問題に対する意識を高めるように促している。また、発展教材「自然とともに生きる暮らし」で、豊かな自然の中で独自の文化を築いてきたアイヌの人たちの暮らしを2ページにわたって紹介している。 ・歴史で条約改正に関連して、「ノルマントン号事件」、「エルトゥール号の遭難」、「陸奥宗光」を4ページにわたり紹介し、発展教材として「南方熊楠」を紹介するなど和歌山の地域教材を掲載している。 <p>○教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」で問題解決の筋道を示し、特に毎時間「次につなげよう」という呼びかけをすることで、学習を次時につなげることができるように促している。 ・3、4年の教科書では「この時間の問い」に対して毎時間、学習活動を3段階で示し、見通しをもって学習できるように工夫している。どの学年でも、「学びのてびき」で重要な学習技能等について、丁寧を示している。 ・各単元の導入部分には見開きや折り込みで大きなイラストを掲載し、興味をもって学び進め、児童から学習課題を引き出すことができるように工夫している。 ・「まとめる」のページで、思考ツールを使って学習をすすめるなど、多様な対話的な学習の姿を例示している。 ・「せんとく」教材や発展教材「もっと知りたい」を取り入れることで、地域や学校の実態、児童の興味・関心に合わせた学習を展開できるようにしている。 ・二次元コードを読み取って見ることができるデジタルコンテンツが準備され、動画、ワークシート、資料の読み取り支援、クイズ式教材が活用できるように配慮されている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会	小学社会	日本文教出版
<p>答申</p> <p>児童の問いから始まり、調べ、解決し、まとめ、生活に生かすという社会科の問題解決学習の学習過程が示された教科書である。また、児童の交流場面を随所に示し、対話的な学びを促している。和歌山の地域教材が多く採用され、児童が親しみをもって活用できる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<p>○教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5、6年でロシアに不法に占拠されている「北方領土」や、韓国に不法に占拠されている「竹島」、中国が自国の領土であると主張する「尖閣諸島」に対する日本の立場を本文中で紹介している。 ・江戸時代の身分差別が現代にかけて解消に向かう過程で「渋染一揆」「解放令」「全国水平社運動」等を取り上げ、自ら解放を求める運動が盛んに行われてきたことを記載している。 ・どの学年にも「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」として単元で学んだこととSDGsを関連付けて地球環境等のことを考えるコーナーを設けている。SDGsシールを活用できるようになっている。 ・「津波による災害」として、濱口梧陵と和歌山県の取り組みを4ページにわたり紹介している。また「自然を守る運動」として南方熊楠を4ページにわたり紹介し、華岡青洲、川端龍子も同時に取り上げている。「くだもの作りのさかんな和歌山県」として有田のみかん作りを4ページにわたって取り上げている。歴史学習でも「エルトゥール号の遭難」について、後日談も含め2ページにわたり詳しく説明している。 <p>○教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習問題の設定、学習計画の作成、問題の追究（調べ学習）、さらなる学習問題、まとめる・伝える、というように児童が見通しをもって主体的に学ぶことができる問題解決の流れを示している。「学び方・調べ方コーナー」では学習に必要な技能を身に付けるために「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の3観点からまとめている。 ・「学習問題をつくる場面」「学習計画を立てる場面」「みんなで考え合う場面」「まとめる場面」等、様々な交流場面を設定し、主体的で対話的な学びが深まるように促している。 ・「せんたく」教材を豊富に掲載し、地域や学校の実態に合わせて単元を組むことができるように配慮されている。また、コラム欄に学習内容に関連した読み物を用意することで、発展的な学習に生かせるよう考慮している。 ・大きな写真や見やすいイラストがバランスよく配置され、児童が興味をもって学び進めることができるよう配慮している。 ・二次元コードを読み取って見ることができるデジタルコンテンツが準備され、動画や教科書には紹介されていない写真資料を見ることができ、学習を深めることができるように配慮されている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
地図	新編 新しい地図帳	東京書籍
<p>答申</p> <p>イラストや写真が効果的に配置され、児童が興味・関心をもって活用できる教科書である。また、地図上の文字や記号、絵記号の大きさや色を工夫することで見やすい紙面になっている。学習者に見立てたキャラクターが随所に登場し、児童が楽しく学習することができるように工夫されている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<p>○教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「目指す子供像」の観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の北端として択捉島を紹介し、ロシアが不法に占拠を続けていて、日本は返還を求めているという記述がある。南西諸島の地図で尖閣諸島を紹介し、中国地方の地図で竹島を紹介している。どちらも日本固有の領土であり、竹島は韓国に不法に占拠されていることを記述している。 ・日本の伝統文化として、歴史的景観、祭り、食文化を地図やイラスト、写真で紹介している。地図上にも世界文化遺産を示す記号を配置している。 ・国際理解を進める観点から、「首都東京」のページには主な国の大使館の場所を示し、ヨーロッパの地図のページでは、ヨーロッパや世界のいろいろな料理について写真を交えて紹介している。 ・「日本の歴史」についての中で、世界と日本との関わりを年表と地図で紹介している。時代を追って世界との関わりが広がっていることや、明治初期と第2次世界大戦後の日本の領土・領域について記述している。 <p>○教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には世界地図、日本地図が折り込みで掲載され、世界の言葉や民族衣装、地域の特徴、また日本各地の名所や名産について示され、児童が地図を使う学習に興味をもつことができるように工夫している。 ・「地図のきまり」「地図帳の使い方」ではキャラクターを登場させ、児童が興味をもって基礎的な地図活用能力を身に付けられるよう工夫している。また地球儀の使い方について写真を使って丁寧に説明している。 ・学習者に見立てたキャラクターの吹き出しの言葉が児童の学びのきっかけをつくり、また、クイズなども随所に配置され、児童が主体的に学習を進めることができるように工夫されている。 ・北極を中心としたユーラシア大陸、太平洋諸島を中心にしたオセアニアの地図があり、大陸と海洋の位置関係やそれぞれの広さ等について分かりやすい表現がされている。また、南半球を上にした世界地図を示し、海洋の広さを分かりやすく示している。 ・折り込みの3ページにわたり、日本の自然災害について写真と地図で記述している。地震や津波の被害だけでなく、大きな被害があった水害、土砂災害、大雪等まで詳しく示している。 ・都道府県や世界各国の統計を見やすい表にまとめている。 ・ページ中央の綴じの部分を開いても文字等が見やすい作りになっている。紙の質もしっかりしていて4年間の使用に耐えることができ、書き込みに対応できるというように工夫されている。 ・地図上の地名を大きなはっきりした文字で示したり、特産物も大きな絵で示したりしており、読み取りやすい紙面づくりをしている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
地図	楽しく学ぶ 小学生の地図帳	帝国書院
<p>答申</p> <p>初めて地図帳を手にした児童が興味・関心をもって活用できるように工夫された教科書である。また、土地の高低差を表す色使いや特産物を表す絵記号の大きさ、色を工夫することで、見やすい紙面になっている。情報量が豊富で地図に関連した資料等が多いため、様々な学習場面において補助資料として活用できる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<p>○教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の領土とそのまわり」として日本の東西南北端を示し、同じページで北方領土、竹島、尖閣諸島について取り上げ、日本固有の領土であることやロシアと韓国に不法に占拠されていることを記載している。 ・「持続可能な開発目標（SDGs）」として見開きの2ページで世界地図とともに環境汚染、温暖化等様々な地球規模の課題について取り上げている。 ・「日本の自然災害と防災」として過去に起きた自然災害を写真と地図で示し、防災マップづくり等も紹介し、4ページにわたり防災意識を高める工夫をしている。 ・「日本の世界遺産」として歴史的な建造物について地図と写真で紹介し、我が国の歴史と伝統、文化に関心をもつことができるようにしている。 <p>○教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12ページにわたり地図の使い方を丁寧に示している。文字や図が大きく、3年生の児童が見やすく、親しみをもつことができる紙面づくりをしている。また、「広く見わたす地図」ということで、都道府県の名所、特産物、伝統行事等をイラストで示し、それぞれの県の特徴を大まかにつかむことができ、児童の興味・関心をひく工夫をしている。 ・土地の高低差を表す色使いや土地利用を表す色使いを組み合わせ、その地域の特徴が一目で分かる工夫がされている。例えば、近畿地方の地図で和歌山をみると、果樹園が多いことがよく分かる表現になっている。 ・日本地図の隅に「国際化が進む福岡市」「広島市の様子」等、地域の特徴を拡大した地図で表している。世界地図のページには「集まれ世界の子供たち」「世界のSDGs」というコーナーを設け、各地域の特徴について写真を活用して分かりやすく説明している。 ・日本地図のページ間に「江戸時代の結びつき」として江戸時代の交通についてのページを設けたり、「江戸（江戸時代後期）」として、江戸の町の様子や江戸時代のSDGsについて紹介しているページを設けたりしている。また、日本の歴史というページを設けて、年表と日本地図にページ数を示し、地図帳を歴史学習の資料として活用できるように工夫をしている。地図としての活用だけでなく、資料集としても活用できるように豊富な資料が掲載されている教科書である。 ・日本の統計のページでは、各都道府県のデータを見やすくまとめ、主な特産物を帯グラフで示し、各都道府県の特徴がよく分かるように工夫している。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
算数	新編 新しい算数	東京書籍
答申		
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成する単元構成・学習展開となっている。</p>		
<p>学習内容の習熟・定着ならびに次学年への学びの連動を意図したスパイラルな学習を重視し、単元構成・配列を工夫した教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・6学年以外は、全て2冊の分冊。1学年は、入門期にA4判「さんすう①」で、集合数と順序数の2単元を構成している。 ・2学年から6学年の巻頭に「学びのとびら」を設定し、教科書やデジタルコンテンツの使い方、算数科の学び方・学習の流れ、ノート作りの工夫等を分かりやすく説明している。 ・2学年以上では、巻末にオプション教材「新しい算数＋プラス」を設定し、補充問題や学びを広げたり深めたりできる問題が掲載されており、個に応じて選択できるようにしている。 ・入門期から、教具・絵・図・式・ことばを関連づけた活動を取り入れ、思考力・表現力を高めていくことを促している。1学年で扱う数図ブロックは、当社のみ入門期から10個1列の型を使用している。 ・1学年「繰り上がりのあるたし算」、「繰り下がりのあるひき算」では、被加数分解や減々法の計算の仕方も丁寧に扱っている。 ・3学年以上で特設教材として「考える力をのばそう」が掲載されている。図や表を使って考える問題が取り上げられている。4学年では、2量の違いに注目させるため、1本の線分図を2本に分けて上下に並べ比較する方法を示している。 ・4学年以上で「算数で読みとこう」が掲載されている。重要単元として扱われている「データの整理と活用」の特設単元である。各学年の発達段階に応じた問題設定がされており、学習内容に合致した表やグラフを活用して、問題解決に取り組める教材である。 ・既習を生かして考えること、既習を発展させ新たな課題を見出し解決しようとする態度や力を育むことを意図し、単元が構成されている。3学年「分数」では、単元アプローチとして、もとの長さが異なる2本のテープを3等分する既習内容を提示し、「もとの量」の重要性に着目させ、本単元第1時に繋げている。5学年「小数のかけ算」では、整数倍から考え、小数倍を考える学習展開となっている。 ・児童の苦手意識が強い「割合」を重要単元と位置づけ、5学年の「単位量あたりの大きさ」の単元名に「比べ方を考えよう(1)」、「割合」の単元名に「比べ方を考えよう(2)」と明記し、両単元の連動性を可視化している。「比例」と「変わり方調べ」も同様の扱いとなっている。5学年以前の学年では、「割合」の素地づくり・つまずきへの対応を考慮した単元がいくつか設定されており、児童に『倍の見方』・『基準量』等を意識させる単元構成がされている。2学年「ばいとかけ算」、3学年「倍の計算」「分数とわり算」、4学年「倍の見方」、6学年「比」等。 ・3学年「三角形と角」の導入は、円周を12等分した12個の点と中心、合計13個の点から任意の3点を直線で結んで三角形を作る。既習の円の性質を活用した学習となっており、5学年の「正多角形と円周の長さ」の導入の活動とも連動している。 ・4学年以上で、特設教材「プログラミングを体験しよう」を掲載している。 ・単元の特性に応じ、写真と挿し絵を適正に使用している。 ・算数の身近さ、有用さを感じることができるコラム『私と算数』が掲載されている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
算数	新版 たのしい算数	大日本図書
答申		
<p>主体的・対話的で深い学びを実現するため、具体的な紙面構成とし、数学的な見方・考え方を働かせながら思考力・判断力・表現力の育成を企図している。</p> <p>学校生活や日常生活の中から問題を見つけ、様々な数学的活動や充実した適用問題で、知識・技能の定着を図ることができる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・2学年以上は1冊、1学年は入門期にA4判の分冊で、集合数・順序数・数の構成の3単元を構成している。 ・2学年から6学年の巻頭に、教科書の使い方・ウェブコンテンツや2次元コードの使い方・算数の学び方・ノートのかき方の例を示している。算数の大切な見方・考え方を『ひらめきアイテム』として、同じ見方・考え方に使える学習内容をまとめたり、集めたアイテムを別の問題解決に活用したりできる。 ・まず自分で考えることを重視した紙面構成がされている。左ページの単元アプローチで既習内容を想起させたり問題意識を持たせたりする。右ページで問題を設定し、自分の考えをノートにかく。ページをめくると、解決方法が示されている。 ・学習の進め方が分かる工夫がされている。授業場面の写真やイラストで、児童の話し合いや発表の仕方・指導者の発問例・板書例等を示しており、児童だけでなく指導者にも参考となる。1学年「たしざん」では、アプローチを含め6ページにわたり詳しく展開されている。 ・「読み取る力をのぼそう」のページでは、発展問題が取り上げられている。 ・1学年からプログラミングの学習が設定されている。2学年以上は、アンプラグドプログラミングとビジュアルプログラミングの両方が掲載されている。 ・1学年の繰り上がりのあるたし算では、$3+8$のように加数の方が10に近い場合は、3から8に2をたす被加数分解の考えを取り上げている。繰り下がりのあるひき算でも、数の構成や大きさに応じて、児童が減加法・減々法のどちらかを選択できるような授業展開となっている。 ・1学年のたし算やひき算のカードを使った学習を独立単元として位置づけて、計算のきまりを考える学習を重視している。 ・2学年「かけ算九九」は、2の段から学習している。 ・児童の苦手意識が強い5学年「割合」の素地作りとして、2学年より倍概念の定着をねらいとした単元構成がされており、3学年「倍の計算について考えよう」は特設ではなく、独立単元として位置づけている。 ・2学年「ばいとかけ算」ではテープ図、3学年「倍とかけ算、わり算」ではテープ図と数直線とテープを組み合わせた図、4学年「倍とかけ算、わり算」では数直線とテープを組み合わせた図と2本の数直線を扱い、発達段階に応じた図の活用がされている。 ・5学年「単位量あたりの大きさ」の単元アプローチでは、お買い得な商品や読書時間等、日常生活で体験する場面が取り入れられている。難解なイメージのある割合が普段の生活に役立っていて、自分も活用していることに気づくことができる。 ・6学年「分数のかけ算・わり算」では、整数の場合と同じように考えたり、かけ算やわり算のきまり・比例の考えを活用したりして解決することに重点を置いて展開されている。 ・算数のたのしさや算数を生かした仕事をしている人へのキャリア教育インタビュー等を掲載したコラム「ふくろう先生のなるほど算数教室」が設けられている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
算数	みんなと学ぶ 小学校 算数	学校図書
答申		
<p>身近な事象や児童の興味・関心に応じた題材から児童自らが問題を見つけ、考え、解決していく学習の過程が可視化されている。</p>		
<p>算数科の学習の中で、問題を解決するとき、どのような見方・考え方をすればよいかということをも身につけるとともに、身につけた数学的な見方・考え方を今後の学習や生活の中で役立てていける児童の育成を企図した教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・6学年以外は、全て2冊の分冊。6学年は「中学校へのかけ橋」と題した別冊となっている。全学年ともA B判サイズ。ページ左に時間経過のように学習の流れが示されており、今何を学習しているのか分かる。 ・1学年の数の学習では、A B判サイズの特性を生かしたダイナミックな紙面作りがされており、入門期の児童にとって見やすく、紙面上の操作もしやすくなっている。 ・2学年から6学年の上巻の巻頭に「みんなと学ぼう 算数の学び方」を設定し、算数科の学び方・学習の流れ、ノート作りの工夫等を説明している。見開きの2ページ分に前学年で『見つけた算数の見方・考え方』が領域別に示されており、9個の考え方モンスターが紹介されている。次のページに『本学年で見つきたい算数の見方』が示されている。また、下巻の巻末には、本学年で『見つけた算数の見方・考え方』が掲載されており、ヒントやふりかえりだけでなく、スパイラルな学びが可視化されている。 ・『算数をつかって』では、SDGs等、今日的課題がテーマとして設定されている。教科を超えた思考力・判断力・表現力の育成を図っている。 ・単元アプローチに『はてなを発見』を設定し、児童の身近な事象や体験から問題を見出している。3学年「かけ算」では、『7の段の九九は苦手。わすれた?』という児童のつぶやきから単元が開始されている。 ・全学年ともに、図や表を使って考える問題が多く取り上げられている。低学年では、ブロック操作や○を使った図、数直線・線分図等、問題に応じて扱っている。2学年「たし算 ひき算(2)」では、テープ図のかき方を丁寧に扱っている。3学年「倍の計算」では、テープ図と数直線とテープを組み合わせた図を使用している。4学年「倍の計算(1)」では、数直線とテープを組み合わせた図とともに、2量の倍関係を表す関係図に似た4マス関係表を使用し、「倍の計算(2)」では、線分図も取り入れている。学年の発達段階に応じた図や表を活用している。 ・5学年の「割合」では、「割合(1)」、「割合(2)」、「割合のグラフ」と単元を分割して配置し、年間を通して割合の意味や用法の定着が図れるよう配慮されている。5学年以前の学年でも、「割合」の学習に苦手意識を持たないように、段階を追って割合の素地作りを行っている。2学年では、「かけ算」の意味理解の学習後に「かけ算と倍」の学習を設定し、その後、5の段の九九の学習を位置づけている。 ・6学年「分数のかけ算・わり算」では、他社に比べ、面積図を取り上げている場面が多く見られる。 ・全学年「プログラミングのプ」という題材名で、1つの特設単元を設けている。2学年の『ひとふでがき』や5学年の『正多角形をかいてみよう』は、見通しを持って筋道を立てて考えられる教材となっている。 ・巻末付録の教具が充実している。2学年の『ジャンケンレース』の3色テープは基準量が分かりやすく、同色を繋ぐと3量を比較できるテープ図が完成する。5学年の『円周の長さ測定器』は直径と円周の長さの関係や正多角形の周りの長さとの関係が視覚化され、児童が扱いやすい教具である。 ・5学年「割合を使ったグラフ」では、みかんの収穫量を扱い、和歌山が取り上げられている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
算数	小学算数	教育出版
答申		
<p>問題発見力・解決力・追求力を培い、数学的な見方・考え方を働かせて学び合う児童の育成を図っている。日常の場面や児童の経験から問いを見出し、協働的に解決し、新たな問いを生み出し、学びを繋げることで会得した確かな学力を学校や日常の場面に生かすことを企図した教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・1、5、6学年は1冊。2、3、4学年は2冊の分冊。 ・2学年から6学年の巻頭に、算数の学び方、前学年までに使ってきた算数で使いたい見方・考え方、学びリンクの使い方等を説明している。単元中盤以降の学習で活用する見方・考え方を「つながるミカタ」に示している。 ・単元末のたしかめ問題のページ下には、『考えるヒント』が示されている。5学年「割合とグラフ」では、『図に表して考えよう』というヒントとともに数直線とテープ図が掲載されている。 ・単元末では、4コマ漫画で単元を中心となる見方・考え方をまとめている。 ・ペアやグループで活動している場面や、1人学習の場面の写真や挿し絵が多く掲載されている。2学年以上では、一人一台端末を活用している場面も多く掲載されている。学習形態の変化を促している。 ・単元導入で身近な場面から問題を発見して、単元末には学んだことを日常生活に生かす単元構成を設定している。4学年「整理のしかた」では、単元アプローチで、問いを見出す→けがの防止ポスター作成の計画を立てる→データを集めて整理する→情報を多くして、より分かりやすい形式に改善する→新たなテーマを発見するという構成となっている。学んだことを日常生活に活用したり他教科へ派生させたりする等、学びの繋がりが期待できる。 ・2学年以上で、練習問題に3段階の自己評価が設けられている。理解が不十分なまま、次のステップに進まないよう配慮されている。 ・1学年「ふえるといくつ」の単元から『ことばの式と○を使った図・式・答えをかく』といったノート指導を丁寧に示している。 ・2学年「分数」は、単元名を「1を分けて」とし、まとめのページでも小題を『1を分けた大きさ』と記している。単元導入時の問題設定の場や単元のまとめの4コマ漫画でも、もとにする量の重要性を強調している。 ・学びの系統性を重視し、必要な箇所に明記している。5学年「わり算と分数」では、4学年で学習した『わり算のきまり』と5学年で学習した『分数の性質』に記述されているまとめは同じ意味であると説明している。 ・3学年「わり算」は、当社のみ包含除から扱っている。 ・6学年「分数のわり算」$2/5 \div 3/4$の学習では、3通りの計算方法を板書の形式で分かりやすく提示している。考え方や立式の根拠を書く位置も的確で整理されている。 ・5学年「割合」では、当社のみもとにする量を基準量、もう一方の量を比較量と記している。 ・「割合」の学習に対する抵抗感を低くするため、2学年から割合の素地作りに関する単元を設定している。2学年「かけ算と倍」ではテープ図の活用、3学年「倍の計算」では倍とわり算の関係、4学年「くらべ方」では数直線とテープを組み合わせた図の活用、6学年「分数のわり算」では分数同士の倍関係について扱っている。 ・5学年「割合とグラフ」のたしかめ問題に、和歌山のみかん収穫量が取り上げられている。練習問題では、ももの収穫量でも和歌山が取り上げられている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
算数	わくわく算数 (別冊「わくわくさんすう1 すたあと ぶっく」)	啓林館

答申

日常生活を送る上で、基礎・基本となる数学的な知識・技能を習得するとともに、筋道を立てて考える能力を育て、ものごとを合理的に処理する思考力・判断力・表現力等が育成できる学びを企図している。

数学的な見方・考え方を軸とした単元構成・学習展開が計画され、児童が主体となって学べるよう、対話的・協働的な授業が工夫された教科書である。

- ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から
- ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から

- ・5学年と6学年は1冊、それ以外の学年は2冊の分冊。1学年は、入門期にA4判「すたあとぶっく」で幼児期の体験や入学当初の学校生活の場から、算数の学びへと繋げている。集合数・順序数・数の構成・かたち遊びの4単元を構成している。
- ・2学年から6学年の巻頭に「算数のとびら」を設定し、算数科の学習の進め方を示している。2学年では4ページの紙面を使い、1学年での学習を【どんなもんだいかな】→【自分で考えよう】→【みんなで話し合おう】→【たしかめよう・ふりかえろう】と段階を追って丁寧に扱っている。算数ノートの作り方や算数で使いたい考えの進め方も示している。
- ・入門期から、身のまわりのものや数図ブロックなどを操作する活動といった具体的・体験的な学びを通して、基礎的な知識・技能の習得を促している。1学年で扱う数図ブロックは、『5・5』の2列で、繰り上がりのあるたし算や繰り下がりのあるひき算の学習でも、『5・5』の2列を使用している。数が大きくなると、数え棒や硬貨を使用する場面が多くなる。繰り上がりのあるたし算では加数分解、繰り下がりのあるひき算では減加法に重きを置き、被加数分解や減々法の計算方法は【算数ポケット】のコーナーで「このようにしてもできます」といった扱いに止めている。
- ・全学年ともに、図を使って考える学習を大切にしている。4学年「小数のかけ算」では、関係図を使って問題の意味を理解し、数直線とテープを組み合わせた図で問題解決の糸口をつかんで立式し、小数の場合はどうなるのか予想し、学習のめあてを決めて、本時の学習を進めている。
- ・全学年に、単元と単元の間いくつかの特設単元を設けている。プログラミングは全学年に掲載されており、1学年の「わくわくぷろぐらみんぐ」では、ロボットを目的地まで移動させるための命令を考えさせている。2学年上巻の「見方・考え方をふかめよう」では、「ほうかご何する？」という題材名で、テープ図のかき方を丁寧に扱っている。3学年「あれ？たくさんいたのに…」では、線分図のかき方を取り上げている。その他の特設単元でも、今日的課題であるSDGsを扱い、当該学年で付けておきたい算数の力をどのように定着させるか熟考された内容となっている。
- ・つまずきの多い内容を重点単元と位置づけ、系統性を踏まえた考え方を育めるよう丁寧に構成されている。5学年の「割合」では、「割合(1)」、「割合(2)」、「割合のグラフ」と単元を分割して配置し、年間を通して割合の意味や用法の定着が図れるよう配慮されている。また、5学年の「割合」の学習がスムーズに始められるよう、2学年「何ばいとかけ算」・3学年「何倍でしょう」・4学年「割合」を丁寧に扱い、6学年「比とその利用」では、問題文に意図的に割合という言葉を用いている。
- ・5学年「面積」では、当社のみ三角形の面積を求める学習から始まっている。
- ・6学年「データの整理と活用」では、大縄とび大会の代表チームのきめ方を考える問題設定で1単元を構成している。問題設定から結論をまとめ、プレゼンテーションのアピール点まで考える、問題解決の方法(PDAC)に沿った学びとなっており、他教科での学習にも生かすことができる。
- ・5学年「割合のグラフ」では、みかんの収穫量を問題にし、和歌山県が取り上げられている。

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
算数	小学算数	日本文教出版
答申		
<p>数学的な見方・考え方を働かせた「わかる・できる・つなげる・いかす」数学的活動の充実により、児童の確かな資質・能力を育成することを企図している。</p>		
<p>算数の楽しさやよさを感じながら学習を進め、生活や学習の基礎となる力の定着を図ることができる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・5学年と6学年は1冊、それ以外の学年は2冊の分冊。1学年は、入門期にB5判の分冊で、絵本形式で幼児期の体験や入学当初の学校生活の場が展開されている。集合数・順序数・数の構成の3単元で構成。 ・2学年から6学年の巻頭に、学習の流れ・算数の学び方・ノートのかき方の例・2次元コードの使い方を説明している。『学び方の4ステップ』として、①どんな問題かな→②考えよう→③学び合おう→④ふり返ろうと提示し、巻末に4ステップに対応した具体的な活動内容を『学び方ガイド』として示している。学び方ガイドの裏面には、算数で使いたい見方・考え方10項目を掲載している。数学的着眼点に気づき、思考力・表現力を身につけるのに効果的である。 ・学習の流れが分かりやすい紙面作りがされている。単元導入前に、前学年の復習問題が右ページに準備されている。次の単元アプローチで、問いを持つきっかけの場が左ページに設定されている。右ページで本時の問題に出会い、問いを持ち自力解決に取り組む。ページをめくって、解決方法が示されている。めあての近くに、見通しを持って考えるための数学的着眼点『見方・考え方』が記されている。また、難易度の高い問題では、まとめの裏付けとなるきまりや算数用語をまとめの上に記している。 ・問題解決型の学習過程を具体的に示したページとして『自分でみんなで』を設けている。ページの端に学習の流れや話し合う内容等を書いている。協働的な学びが期待される。 ・1学年で定着させたい知識・技能に関する指導が丁寧である。繰り上がりのあるたし算での加数分解・被加数分解の手順、繰り下がりのあるひき算での減加法・減々法の手順、数によって計算方法を考える理由、一の位と十の位の意味等、言語表現の未熟な1学年の児童に寄り添った記述になっている。 ・日常生活や学校生活の中から見出された問題が多い中、めあてに焦点化した問題作りの工夫が見られる。5学年「円周と直径」で、直径が2倍、3倍と変化している3つの同心円と大きさの異なる2つの円が示されていて、『直径の長さを変えると何が変わりますか』という問題が出されている。問題を解決する前に、直径と円周の関係に着目し、目的意識を持って数学的活動に取り組むことができる。4学年「四角形」では、3種類の長方形と2種類の三角形を組み合わせて、いろいろな四角形を作る活動が取り上げられている。ここで作られた四角形の辺の並び方に着目すると、平行な辺の組の数によって仲間に分けることができる。算数の楽しさ・規則性に気づくことができる問題設定である。 ・5学年「割合」への抵抗を少なくするため、学年の系統性を重視した「倍の見方」の単元構成がされている。2学年「ばい」では、基準量に着目させる問題設定・まとめとなっている。3学年「倍の見方・倍の計算を考えよう」では、テープ図を使って、分からない数はかけ算やわり算で求められることを分かりやすいことばで記している。4学年「倍の見方・倍で大きさを比べよう」では、数直線とテープ図を組み合わせた図と表（関係図を表化したもの）を使って分かりやすい言葉で記している。5、6学年の「小数倍」、「分数倍」の単元アプローチでは、これまでの学習と同じように考えれば解決できることを示している。 ・全学年で「レッツプログラミング」が設定されており、プログラミング的思考を育むことができる。 ・5学年「割合をグラフに表そう」で、かきの収穫量が扱われており、和歌山が取り上げられている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
理科	新編 新しい理科	東京書籍

答申

教科書サイズは大きく、単元はじめの写真は迫力があり、学習導入ページとしてインパクトがある。また、文字、表、挿絵、写真などが大きく表現されていて、児童の興味・関心を引くように工夫されているのが特徴である。児童が主体的に学習を進められるように、学習の流れを一本の線をつなぎ、深い学びへと導いている。

- ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から
- ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点おから
- ・特別支援教育やユニバーサルデザイン、人権、ジェンダー、福祉に配慮した紙面構成になっている。あらゆる状況の子供たちに対応でき、見やすく、読みやすいものになっている。
- ・観察・実験と結果及びまとめは同じ見開きに示さない構成にし、自分たちの観察・実験から結論をまとめられるようになっている。
- ・巻末の「理科の調べ方を身につけよう」のまとめが、観察・実験の基礎知識として、すぐに確認できる。
- ・ペア、グループで話し合う場面を随所に掲載し、協働的に問題解決に取り組むように働きかけている。
- ・全学年の最後にプログラミングのページを設けている。6年は、「電気と私たちの暮らし」の単元にも2ページ設けている。
- ・教科書サイズA4判、3年176ページ、4年200ページ、5年168ページ、6年200ページ
- ・配当時間は、年間10時間程度の余裕を持たせている。3年は90時間、4、5、6年は105時間になっている。
- ・単元導入部分に「レッツトライ！」を設け、具体的な記載により問題がつかみやすくなっている。カラー表示を統一し強調している。
- ・問題解決の過程を一本の学びのラインでつなぐことで、今何を学習しているのかを意識し、学びの流れをとらえやすくなっている。
- ・「理科の見方・考え方」を働かせる場面を青枠で囲み、具体的に明示することで、意識的に思考し、深い学びへとつながっていく。
- ・「学ぶ前に」「学んだ後に」では、同じことについて考え、学習後の成長を実感できる。
- ・単元末などに「広げよう！理科の発想」「理科の世界たんけん部」「こんなところにも！理科の世界たんけん部」を設定し、学習してきたことと関連のある職業人や発展的な知識が記載されている。
- ・二次元コードを読み取ってアクセスできるデジタルコンテンツの「理科ノート」は、オンライン授業にも役立つようにPDF形式で作成されている。
- ・巻末の「デジタルコンテンツで学びを広げよう」で二次元コードの種類ごとに説明が記載されている。
- ・巻頭の「〇年の理科で学ぶこと」や、巻末の「1年間をふりかえろう」では、内容を理科の4領域（物のほたらき、物の性質、生命、地球）で整理し、系統立てて見通しと振り返りができるように工夫されている。
- ・学習のつながりを意識することができ、単元の内容をつなげ、領域の概念を形成しやすくなっている。
- ・巻末に「〇年のまとめ」があり、次年度の学習内容も記載している。
- ・和歌山県に関する身近な資料として、6年「こんなところにも！理科の世界探検部」で恐竜発見の地図（P105）や、ジオパークの地図（P119）が取り上げられている。

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
理科	新版 たのしい理科	大日本図書

答申

教科書サイズがA4判であることで、写真やイラストをダイナミックに見せたり、情報を豊富に記載したりすることができる。また、二次元コードがページ下に整理され、説明もついているので利用しやすいといった特徴がある。問題解決の過程が「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」の大きく3つに分けられ、主体的に学習を進めやすくなっている。

- ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から
- ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から
- ・特別支援教育やユニバーサルデザイン（フォント、配色）に配慮した紙面になっている。
- ・観察・実験と結果及びまとめは同じ見開きに示さない構成にし、自分たちの観察・実験から結論をまとめられるようになっている。
- ・「結果からいえることを話し合おう」「予想を交流しよう」など、個人思考だけでなく、ペアやグループの交流を基に学習を進めていくようにイラストやコメントを随所に入れている。
- ・言語活動の場面を随所に掲載し、協働的に問題解決に取り組むように働きかけている。
- ・教科書サイズA4判、3年204ページ、4年228ページ、5年194ページ、6年232ページ
- ・A4判で大きく、問題を見つけるページが見開きの2ページ全面に写真で掲載されており、子供の興味・関心を引く有効な資料となって、体験や写真から問題を見つけ出せるようになっている。
- ・問題解決の過程が「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」と大きく3つに分けられている。また、巻頭で問題解決の過程が図示され、学習の際どのような視点で学習を進めていくかが分かる。
- ・各単元には理科の見方・考え方の着目点「ココに注目」を記載し、子供たちの深い思考に繋げている。
- ・写真やイラストが比較しやすいように配置されている。
- ・単元の終わりには振り返りのページ、巻末には全てのまとめがある。
- ・学習したことをさらに学びを深めるため、「学んだことを生かそう」でさらに観察・実験を紹介したり、「りかのたまてばこ」や「サイエンスワールド」で発展的な資料も掲載したりし、深い学びに繋げている。
- ・プログラミングの記載は、6年「私たちの生活と電気」で5ページ扱われている。
- ・二次元コードがページ下に整理されており、その横に説明書きもあるので見落とすことが少ない。また、理科の学び方ページの下には「新版たのしい理科ウェブ」があり、いろんな一覧表示を見て検索できる。
- ・「りかのたまてばこ」では、中学校の学習内容や、科学者に関する情報が掲載されている。
- ・「ふり返ろう」ではじめの問題に立ち返ることで、分かったこと、考えたことの再確認ができる。
- ・和歌山県に関する身近な資料として、5年の「流れる水の働きと土地の変化」で田辺市と那智川、6年で広村堤防と田辺市の津波ハザードマップが取り上げられている。

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
理科	みんなと学ぶ 小学校 理科	学校図書
<p>答申</p> <p>単元はじめのページでは大きなインパクトのあるものを提示し、興味・関心を引く。問題提示の場では課題を把握しやすいように比較できる写真や図をふんだんに使っている。チェックシート形式で今何をしているかを確認しながら、スモールステップで丁寧に学習を進められることが特徴的な教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程の中で目に見えて分かりやすい図や写真を入れて比較できるようにし、見通しをもって学習が進められるようになっている。 ・関連ページの記載があり、継続意識を高めることができる。 ・UDフォント、ユニバーサルデザインを取り入れ、誰にでも分かりやすい教科書になるように色使いやレイアウトなどに配慮している。 ・観察・実験の手順に写真や文を対応させ、器具の使い方などの内容を示し、チェックをして確認していくことで、どの子供にも分かる紙面構成になっている。 ・教科書サイズはA B判、3年184ページ、4年204ページ、5年192ページ、6年232ページ ・問題解決の過程を繰り返し意識できるようにチェックシート形式で観察・実験が整理されており、学習の手順が記載されているので、スモールステップで学習を進めることができる。 ・単元はじめの「できるようになりたい」でこの単元でつけたい力が明記され、見通しを持って学習に取り組むことができる。単元末の「できるようになった」で学びを振り返ることで、自己評価を行いながら学習できるようになっている。 ・単元の終わりの「やってみよう」では、学習したことを活用した観察・実験の場面が設けられており、学んだことをより深めるための活用的、発展的な学習をする余裕を持った時間配分になっている。 ・配当時間に予備時間を設け、余裕を持った時間配分になっている。 3年76時間+14時間（予備）、4年89時間+16時間（予備）、5年89時間+16時間、6年90時間+15時間 ・読み物資料のバリエーションも豊富で、単元の学習内容に関連した科学者の伝記のページや、キャリア教育を視野に入れた働く人たちの資料、防災教育を視野に入れた災害の資料などがあり、児童の興味・関心を高めることができる。 ・プログラミングの記載は、6年「電気と私たちの生活」で4ページある。 ・巻末に大事な言葉・調べ方や使い方、QRもくじが記載されている。 ・はじめと終わりのあたりにQRもくじがあり、学年のデジタルコンテンツが一目で分かるので、振り返りや学びを深める際に便利に活用できる。 ・学習内容に関連するSDGsの主な目標を裏表紙の目次に表示している。 ・左利きの児童にも配慮している記述がある。 ・和歌山県に関する身近な資料として、6年でジオパークの地図（P152）が取り上げられている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
理科	未来をひらく 小学理科	教育出版
<p>答申</p> <p>写真や図表の取り扱いが豊富である。観察・実験で扱われる事物・現象は安全面、扱いやすさ、種類、入手しやすさ等において適当である。教科書の裏表紙には理科の安全の手引きがあり、注意事項を簡単に確認できるようになっており、安全面が大切に扱われているという特徴がある。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮した紙面構成になっている。 ・学習の進め方、ノートの取り方、ふり返り、確かめの記載がある。 ・「見つけよう」の場面で登場人物の会話例を紹介するなど、話し合いを促す活動が設けられている。 ・教科書サイズ変形A B判、3年192ページ、4年232ページ、5年208ページ、6年224ページ ・葉さじではなく小さじを使用したり、長いガラス管ではなくかさぶくろを使用したりし、身近で抵抗感のない実験道具を使用している。 ・「見方・考え方のカギ」では、大事な部分がマーカーで強調されている。大事な言葉もマーカーで色付けしている。 ・単元はじめのページ「学習のつながり」「思い出そう」で、既習内容や生活経験との関連を探っている。 ・学習前の〇〇さんと学習後の〇〇さんで、学習前後の思考がどう変わったのかを振り返る機会を設けている。 ・前学年の復習ページがはじめに設けられ、最後にはこの学年で学んだことを記載している。 ・「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」では、これから学び合う上で大切な言葉を示している。 ・単元最後の「たしかめよう」では、確かめ問題に関係する内容を記載している。 ・プログラミングの記載は、6年「私たちの生活と電気」で5ページある。 ・単元学習の後には、「資料」「科学のまど」「チャレンジ」等の補助資料が豊富で、発展的な内容が多く記載されている。 ・各学年の巻末ページに「さくいん」を掲載し、動画、ウェブずかん、SDGsとの関わり等が一覧でき、調べやすく工夫されている。 ・二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツの内容についての説明書きはないが、動画や静止画などを一目で識別できるマークがある。 ・児童が自ら問題解決の方法を考え、解決することを導くようにデジタルコンテンツは観察・実験で注意することや発展的な資料等に限り、数を最小限に抑えている。(ものの使い方・調べ方、ウェブずかん等) ・「まなびリンク」からは、各教科の目次にリンクできるようになっている。 ・和歌山県に関する資料としては、5年「流れる水と土地」で熊野川、6年「土地のつくり」で和歌山市の地層と熊野川が取り上げられている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
理科	わくわく理科	啓林館

答申

問題解決の流れに沿い、分かりやすい構成である。また、学習内容と生活とのつながりが分かるように身の回りの様子が写真で取り上げられている。教科の特性から、継続的な観察や予定通りに進まない部分を予備時間として扱い、柔軟な対応ができるのが特徴である。

- ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から
- ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から
- ・特別支援教育やユニバーサルデザイン、人権、ジェンダー、福祉に配慮した紙面構成になっている。
- ・観察・実験と結果及びまとめは同じ見開きに示さない構成にし、自分たちの観察・実験から結論をまとめられるようになっている。
- ・「見つける→調べる→まとめる」の3段階で、問題解決の流れが成立しやすいように配慮されている。
- ・「理科の広場」「くらしとリンク」など、発展につながる中学校の学習内容が記載されている。
- ・グループ学習、観察、実験の様子をちりばめ、話し合う場面も随所に入れている。
- ・教科書サイズA B判、3年184ページ、4年200ページ、5年192ページ、6年216ページ
- ・既習事項の振り返り場面を記載し、単元に入るように工夫されている。
- ・吹き出しの中で「理科の見方・考え方」にマーカーをつけ、問題解決に必要な、比較、関係付け、条件制御、妥当な考えをつくる力を手助けする工夫をしている。
- ・「はじめに 考えよう」「もう一度 考えよう」では、同じ問いについて考え、学習後の成果を実感できる。
- ・子供が主体的に取り組みやすい紙面構成になっている。
- ・野外観察や、飼育・栽培の時期に合わせた単元構成になっている。
- ・配当時間に予備時間を設け、余裕を持った時間配分になっている。なかなか時間通りに進まないことが多い観察・実験や教科担任制、専科制にも対応できる。
3年80時間+10時間（予備）、4年94時間+11時間（予備）、5、6年95時間+10時間（予備）
- ・プログラミングについては、「やってみよう！プログラミング」を全学年に設けている。
3年P55、4年P153、5年P50、6年「発電と電気の利用」で4ページ
- ・二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツを利用して予習や復習をすることができる。デジタルコンテンツの目次が充実していて使いやすい。
- ・「スマート解説」は復習に役立ち、単元で学習したことの知識を利用し「活用しよう」にも利用できる。字幕表示に合わせて音声解説を聞くことができる。
- ・3年巻末のたんけんシートには物差し機能がついており、丈夫で、切り取って外へ持って出ることができる。
- ・和歌山市の近隣地域に関する資料の掲載が多く、身近に感じることができる。
5年「雲と天気の変化」（和歌山市）、「メダカの誕生」（串本町）、「流れる水のはたらき」（紀の川、熊野川、日高川）、6年「大地のつくりと変化」（和歌山市、白浜町、広川町）

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
生活	新編 新しい 生活	東京書籍
<p>答申</p> <p>各単元の学習において、学習活動や活動のめあてを明記するとともに、主な評価規準を分かりやすく示し、指導と評価の一体化を図っている。</p> <p>また、学びを深める場面では、学びを促進するための学習環境（対話、掲示資料等）について具体的に例示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から ・表紙が子供らしい写真とイラストで構成されていて、親しみがもてる。 ・各単元の扉ページは、見開きで写真も大きくダイナミックであり、写真の子供の表情も笑顔があふれるものとなっている。また、扉ページには、単元に関連する子供のつぶやき例を掲載し、主体的な活動へいざなう構成となっている。 ・各学習において、学習活動や活動のめあてを明記し、活動のめあてには、主な評価規準をマークで示すことにより、指導と評価の一体化を図っている。 ・身近な生活に関わる見方・考え方を生かして活動している子供の姿が、吹き出しを使って具体的に例示している。 ・学びを深める場面では、深い学びを促進するための学習環境（対話、掲示資料等）についても具体的に例示している。 ・GIGAスクール構想に対応したICT機器の活用場面について具体的に示すとともに、子供同士が意見交流により学びを深めていく様子が示され、教師にとっても指導のヒントになっている。 ・子供の「もっと知りたい」に応えるため、二次元コードによる豊富なデジタルコンテンツが用意されており、その一つ一つに「資料」か「使い方」かが分かるようにしている。 ・上下巻ともに巻末には、「かつどうべんりてちょう」が掲載され、活動に即して身につける習慣や技能、学び方などをまとめている。 ・スタートカリキュラムに13ページと多くの紙面が割かれ、「どきどきわくわく1ねんせい」では、幼稚園や保育所での活動を振り返りつつ、「きょうしつ」「ともだち」「がっこう」とテーマを徐々に広げることで、子供の不安を払拭するとともに、保護者への理解も図れるようにしている。 ・UDフォントやカラーUDなどユニバーサルデザインの観点に配慮され、専門家による校閲等も行われている。 ・外国にルーツがある子供や障害のある子供が写真やイラストで登場し、ユニバーサルデザインやインクルーシブ教育に配慮されている。 ・「保護者の皆様へ」では、熱中症予防や動物アレルギーへの配慮を求めたり、学習内容への理解を求めたりと保護者との連携を意識した記述をしている。 ・二次元コードは、上巻30個、下巻25個。 ・教科書サイズは、A4判。ページ数は、上巻130ページ、下巻122ページ。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
生活	新版 たのしいせいかつ	大日本図書

答申

観察日記をはじめ、どんな場面でどのようなまとめ方をすればよいか、子供がかいたワークシート例を多数掲載している。また、観察の仕方などをイラストや動画で紹介するとともに、学びの振り返りをきもちマークで表すことができたり、ワークシート内の耳や目などのマークで表現したりすることができる。

- ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から
- ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から
- ・単元が春夏秋冬の季節の暮らしに合わせて展開されていて、季節ごとに色を統一している。
- ・表紙をはじめ、各紙面で様々なタッチのイラストで構成されている。
- ・各単元ともに、単元名～課題文～子供から引き出したいことばで整理し、何を学習すればよいのかが予見できる構成になっている。
- ・問題解決学習を促す意味で、キャラクターが投げかけをし、課題解決をはかっていくような見開きページとなっている。
- ・単元の振り返りをする場面では、発達段階を考慮し、「きもちマーク」に表情を書き込むことで、満足度や心の動きなど自分の気持ちを表現できるよう配慮しつつ、振り返りを意識できるようにしている。
- ・「せいかつことば」を掲載し、関わりのある言葉や言い回しを紹介したり、「きらきらことば」で人との関わりが深まる言葉を取り上げたりすることにより、言語能力の育成を図るとともに、人とのより良い関係性を構築するための支援が見られる。
- ・「かぞくとなつをたのしみたいね」、「かぞくだいすきだよ」、「みんなで食べるとおいしいね」など、家族との対話や交流を促すページが取り上げられている。
- ・UDフォントを使用していたり、カラーUDを意識した色合いの紙面になっている。また、背景色は白色を使うなど、配色に配慮している紙面が多い。専門家の監修を受けている。
- ・観察日記をはじめ、数種類のワークシートを取り上げ、どんな場面でどのようなまとめ方をするのか例示している。(上巻20、下巻30)
- ・ICT端末の積極的活用の観点から、写真等の記録により振り返りを行う活動や発表時の電子黒板の使用例などを示している。
- ・写真や動画など、二次元コードが上巻48個、下巻42個用意されており、個別学習や問題解決にデジタル教材を活用しやすい。
- ・資料「がくしゅうどうぐばこ」上巻15ページ 下巻12ページ。他にWEBがくしゅうどうぐばこがあり、豊富に用意されている。
- ・スタートカリキュラムは、11ページ、もうすぐ2年生は、8ページ、みらいにむかってしゅっぱつは4ページと、学年間のつながりを大切にしている。
- ・写真で示すことは少ないが、イラストによりインクルーシブ教育に配慮が見られる。
- ・SDGs関連は、4ページ。
- ・教科書サイズは、A4判。ページ数は、上巻140ページ。下巻128ページ。
- ・表紙は、光触媒を利用した抗菌・抗ウィルス処理をしている。

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
生活	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ	学校図書

答申

「みる」「さわる」「たとえる」「くらべる」「よそうする」など、学習対象に働きかけるポイントを示したり、その時の気持ちを「顔マーク」で表現したりするなど、活動に取り組んだ自分を振り返り、自己評価につなげられるようにしている。

- ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から
- ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から
- ・表紙は、各単元で中心となるキャラクターを登場させたすごろくをモチーフに、1年間の学習の流れが分かるようになっている。
- ・あおい、りんたろう、ゆい、そうたの、4人のキャラクターが登場する。各単元に、中心となるキャラクターが設定されており、そのキャラクターの吹き出しは色付きの吹き出しにしている、判別しやすい。また、中心となるキャラクターを追っていくことで、子供も共に学んでいけるようになっている。
- ・単元の導入は見開きページとなっていて、子供の笑顔あふれる写真を掲載している、インパクトがある。
- ・各単元の学習では、見開きページの左上に、マークを付した「活動内容」が示されており、「子供の欲求や願い」、「活動」、「振り返り」へと学びのつながりが分かる紙面構成になっている。
- ・「みる」「さわる」「たとえる」「くらべる」「よそうする」など、対象に働きかけるポイントを示したり、ワークシートに、そのときの気持ちを「顔マーク」で表現したりするなど、活動に取り組んだ自分を振り返り、自己評価につながるようにしている。
- ・上巻では、単元末は発展ページで終わるが、下巻は「ふりかえろう」のページがあり、様々なまとめ方や表現方法を紹介している。
- ・スタートカリキュラム「はじまるよ しょうがっこう」では、4人のキャラクターと見守ってくれる先生が登場し、幼児期の学びをふりかえりつつ、新しくスタートする小学校生活への期待感を持たせるようにしている。
- ・ICT機器（タブレット端末等）を身近な道具として活用できるように、上巻では写真や動画を中心に扱い、下巻では写真や動画を含む情報の扱い方についても示している。
- ・巻頭に「感染症対策について」を設けるとともに、うがいや手洗いについては、マークを用いて注意喚起をしている。
- ・学年末に学びの振り返りを作文で書く活動が設定され、言語活動も意識している。
- ・UDフォントやカラーUDを使用し、読みやすく目に優しい色使いなどの配慮をしている。
- ・巻末資料「まなびかたずかん」では、言語や表現を中心に実際の活動の場面での困りごとを解決するための手法がテーマごとに解説されている。
- ・二次元コードは、上巻27個、下巻13個。
- ・ワークシート数は、上巻39、下巻52。
- ・教科書サイズは変型A4判で、A4判よりも少し小さい。ページ数は、上巻140ページ、下巻132ページ。

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
生活	せいかつ	教育出版
答申		
<p>問題解決学習を促すために、学習場面に応じて、「わくわくスイッチ」「はっけんろード」「ぐんぐんはしご」など、子供達の興味・関心を喚起する工夫が見られる。2年間を通して、2人の主人公の会話や記録、作品などから成長が感じられるようにしている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の扉ページに、「わくわくすいっち」を設けていて、経験や意欲に差異のある子供たちが自然な形で活動に入っていけるような流れになっている。また、扉ページ下部には、「はっけんロード」があり、もくじとリンクするようにその単元の位置づけが示され、一年間の学習を見通すことが出来る。 ・各単元末には、「なにをかんだかな」という振り返りのページが設けられており、「ぐんぐんはしご」を設けて自己評価を促すとともに、評価のポイントになるようなメッセージが示されている。 ・キャラクター「いぐら」や「はてな」を登場させて、子供たちが学習を進めていくうえでのヒントとなるよう、子供たち一人一人の思いや願いを引き出す言葉かけをしている。 ・小単元名の前に「サイコロ」を配し、「気づく」「考える」「自分で出来る」「自信をもつ」など表示し、子供や教員が学習のめあてをつかむことが出来るようにしている。 ・上下巻を通して二人の主人公（はな、ひかる）を設定し、会話やカード、作品などから、成長が感じられるようにしている。 ・上下巻ともに巻末には、「学びのポケット」を設けて、生活科の学び方や他教科との関連を示している。 ・ICT端末の活用を促すため、「まなびリンク」では、動画、ワークシートやデジタル図鑑などで、学習に役立つ情報を得ることが出来るようにしている。それとともに、巻末の「学びのポケット」では、ICT活用方法や注意事項などを掲載し、注意喚起もしている。 ・表紙中央に、子供の写真を配置するとともに、その周りには、障害のある子供たち、服装、髪の色、ランドセル等持ち物の色にも配慮するなど、ユニバーサルデザインや特別支援教育等の多様性への理解を育む構成となっている。紙面中身についても同様の配慮がされている。 ・スタートカリキュラム「はじめのいっぽ」では、幼児期の学びとそれを生かした小学校での学習の姿を上下に掲載し対比出来るようにして、保護者の理解につながるよう配慮している。 ・「手洗いうがい」マークが活動内容に応じて、各所に表記されているとともに、「げんきにすごそう」では、活動が活発になることを予測し、二次元コード「てのあらいかた」を読み取り視聴することで、衛生面や健康面に注意喚起が出来るよう配慮している。 ・下巻には、クイズがいくつか掲載されており、子供たちが楽しみながら交流したり調べ学習をしたりするきっかけづくりになっている。 ・二次元コードには、動画、図鑑、ワークシートなど、どんな内容のものかが一目で分かるように付記されている。 ・下巻では、SDGsが子供たちにとっても身近なことであると感じられるように、関連する写真を掲載している。 ・教科書サイズは、A4判。ページ数は、上巻130ページ、下巻130ページ。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
生活	せいかつ たんけんたい	光村図書
<p>答申</p>		
<p>各単元ともに、導入では学習材と子供の写真をダイナミックに配置し、学習材との出会いを魅力的に演出している。学びを深めていく様子を写真や吹き出しで示し、イメージを持ちやすくしたり、学び方のポイントをヒントとして示したりしていることで、学習の流れが分かりやすい。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・上下巻の表紙や折り込みを含めた巻頭ページにわたり、書き下ろしのイラストページを設けている。 ・上下巻ともに、目次の次のページに「このきょうかしよのつかいかた」のページがある。 ・ヨシタケシンスケ氏が教科書の企画段階から参画し、「自分もやってみたい」という探究心が芽生えるよう、「こんなこともあるかもね」「こんなのもいいかもよ」「どうしてだろう なんてだろ」等、子供が共感しながら学びを進めていくことにつながるイラストが随所に示されている。 ・学習目標が達成できるように、各単元ともに「導入」は見開きページとし、学習材と児童の写真をダイナミックに配置し、学習材との出会いを魅力的に演出することで意欲喚起につなげている。展開では、見開きページ左上部に学習課題を具体的に示しており、これから進めていく学習活動の見通しがもてるようにしている。また、学びを深めていく様子を写真や吹き出しで示し、イメージを持ちやすくしたり、学び方のポイントをヒントとして示したりしている。ページ右下には、「ふりかえろう」があり、活動のふりかえりの仕方を「こんなことはあったかな」として、14の観点で整理をし、次の学びにつながるようにしている。これにより、単元（学習）の流れが分かりやすく構成されている。 ・対話的な学びを促す学習環境の例示として、黒板への掲示物、ICT端末を活用している場面（写真や動画）、多様な交流のあり方としてのオンライン通話なども示されており、3年生からの学習につなげることができる。 ・各単元に「保護者の皆様へ」というコーナーが設けられており、学習活動を円滑に進めるために、学習のねらいを示すとともに、子供の学習に保護者も積極的に関わりをもってほしいという願いから、子供への声かけのヒントなどが紹介されている。 ・各単元の最後に、学習のまとめとして活動を振り返り、自分の気持ちを作文でまとめる場を設定し、言語活動を意識している。また、「楽しい毎日につなげよう」のコーナーを位置づけ、学びを日常生活につなげるきっかけとしている。 ・別冊「ひろがるせいかつじてん」や、切り離して使える「〇〇のなかまたち」など、子供が携帯して活用できる教材の工夫がある。 ・二次元コードの「気をつけよう」のコーナーで、手洗いやうがいの仕方、道具の使い方、交通安全、注意が必要な動植物等を紹介している。 ・スタートカリキュラムに多くのページを割り、幼稚園や保育所で身につけてきた学びを生かしながら小学校生活を始められるよう配慮されている。 ・下巻「きせつのくらし」では、春夏秋冬の各季節で季節の移り変わりの様子をまとめている。 ・特別支援の観点とカラーユニバーサルデザインの観点から、専門家の校閲を受けている。 ・教科書サイズは、A4判。ページ数は、上巻137ページ、下巻127ページ。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
生活	せいかつ	啓林館
<p>答申</p> <p>子供の主体的な活動を促す写真やイラストが多く、「わくわく・いきいき・ぐんぐん」という3段階構成である。問題解決的な学習が展開できる構成で、子供にとって学習の見通しを立てやすい。デジタルコンテンツも豊富で、個別学習にも対応できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から <ul style="list-style-type: none"> ・上下巻ともに、表紙や各単元のはじまりなど、子供の笑顔あふれる写真を使用し、学習への期待感を抱かせる。 ・学習の流れを分かりやすく伝えるために、「わくわく（意欲喚起・思いや願いを高める）」「いきいき（体験・対話を通して感じる・考える）」「ぐんぐん（伝え合い・振り返り）」の3段階構成となっており、子供にとって学びの見通しを立てやすい。また、生活科を指導する教員にとっても指導のヒントとなる構成となっている。 ・「ぐんぐん」では、学習のまとめ方や友達との交流の仕方などをイメージできるように工夫されている。タブレット端末を持って探検に出かけたり、電子黒板を活用して発表したりする場面などが、児童の学び方のヒントになる。板書や資料の掲示、協働的な学びの場（机のレイアウト）などをイラストで具体的に示し、活動を広げたり、深めたりするための一助としている。 ・紙面右下にめくり言葉を設定し、活動が連続して進んでいく展開になっており、次の活動への子供の思いや願いを表現し、意欲を高め、活動の連続性や広がりにつながるようにしている。 ・どの単元にも、予想される子供の思いが吹き出しとして掲載されていて、子供の思いや願いを大切に学習展開を示している。 ・上巻「じぶんでチャレンジ大きくせん」下巻「これまでのわたし これからのわたし」では、様々な人との関わりを通して、自分自身を振り返ることを大切にしている。 ・紙面の各所に、「他教科マーク」を掲載し、他教科とのつながりを分かりやすく示している。 ・子供の「もっと知りたい」をサポートするデジタルコンテンツ「デジタルたんけんブック」や「学びウェブ」が随所にあり、学習に関連する動画や音声を閲覧でき、一人学習も可能となっている。 ・UDフォントやカラーUDを採用。写真や挿絵には、障害のある子供や外国につながる子供が登場したりするなど、多様性を含めユニバーサルデザインや特別支援教育等への配慮がされている。 ・スタートカリキュラムは、他のページよりも小さいサイズとなっていて区別しやすい。保護者へのメッセージでは、感染予防や交通安全に関する協力を求める内容となっている。 ・3年生へのステップブックに多くのページを割いていて、子供たちが生活科での学習を振り返ることができる。また、保護者に対しては、生活科の学習の大切さを説明するものとなっている。 ・「びっくりずかんLIVE」では、子供たちの身近にあるものや行事等をインパクトのある写真やイラストで例示していて分かりやすい。 ・上下とも巻末に「がくしゅうずかん」が掲載してあり、学習の方法や注意しなければならないことを子供が主体的に調べることができる。 ・SDGsに関連して、見開きの2ページで紹介し、さらに詳しく調べられる特設サイト「わくわくSDGs」も用意されている。 ・教科書サイズは、AB判で最も小さいサイズ。ページ数は、上巻148ページ、下巻138ページ。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
音楽	小学音楽 音楽のおくりもの	教育出版
<p>答申</p> <p>ダイナミックな写真を使用し、児童の興味・関心を高めるような工夫がなされている。</p> <p>主要部分と選択可能なオプション部分の教材を組み合わせたり、教科横断的な教材を配列したりするなど、弾力的な運用が可能な教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<p>○教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びを引き出す「まなびナビ」や中高学年では「学び合う音楽」コーナーを設置し、学びのプロセスを示している。 ・巻末の折り込みページにリコーダーの運指を掲載し、開くとどのページからでも確認できるように作られていたり、音楽づくりでの協働的な活動をイラスト入りで示したりすることで、個別最適な学びや協働的な学びに配慮した紙面づくりがなされている。 ・本市が目指す豊かな心を育むために、国際的な視野に立ち、文化の多様性についての理解を深められるよう、外国語の歌が多数掲載されている。 <p>○教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習マップ」を全学年の巻頭に新設。各題材で学習する内容を分かりやすく解説している。 ・全体構成は、主要部分と選択可能なオプション部分により構成されており、主要部分は、「音楽の見方・考え方を働かせながら資質・能力をはぐくむ題材」（5～6）「生活や社会と音楽とのかかわりを扱う題材」（1～2）「主体的・協働的に表現を楽しむ題材（まとめ）」（1）とし、全学年8題材で構成されている。 ・選択可能なオプション部分では、カリキュラムマネジメントに対応し、「ショートタイムラーニング」として教科横断的や短時間学習の教材を掲載している。また、弾力的な運用が可能な曲集部分を「音楽ランド」として、多くの教材を掲載している（6学年では、88ページの内18ページを占めている）。 ・題材構成とは別に、鑑賞スペシャル教材を配置し、自由に楽しむ鑑賞教材を提示している。 ・音楽づくりでは、題材構成の外に「音のスケッチ」としてテーマを決めて丁寧に扱い、系統的に積み重ねて学習を進めていくように配列されている。 ・共通教材のほとんどが「にっぽんのうた みんなのうた」として題材構成の外で指導する構成になっている。 ・紙面構成では、見開き左上に題材名、上部には見開きごとの学習のめあてを重要な言葉の文字の色を変えて表示し、右ページ上には音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」として示し、学習の見通しや活動を明示している。また、巻末資料として音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」としてまとめている。 ・折り込みを使ったワイドな紙面でインパクトのある写真を使用し、歌詞のイメージを膨らませている。また、表現者からの写真入りコラムや生活や社会と音楽の関係等の豊富な資料や読み物を取り入れている。 ・「まなびリンク」では、二次元コードから動画・ワークシート・資料の3種類がデジタル教材として示されている。鑑賞教材の動画が多く、使われている楽器ごとの演奏を見ることができると共に、楽譜で演奏しているところを色分けして追っていくという動画もあり、楽譜を大切に扱っている。 ・鍵盤ハーモニカやリコーダーの導入は、8ページを使用して丁寧に扱っている。また、鍵盤ハーモニカのケースを譜面台にすると、教科書の鍵盤の写真と鍵盤の位置が合うように工夫されている。 ・題材に入る前に、2年から6年では、歌声とリズムのトレーニングを取り入れ、スキルアップを図っている。 ・「国歌 君が代」には見開きの2ページを使用し、5、6年には歌詞の大意を掲載している。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
音楽	小学生の音楽	教育芸術社
答申		
<p>【共通事項】を軸に、表現教材と鑑賞教材を関連付けて配列し、何を学ぶのかを明確に示した題材構成となっている。</p> <p>系統的に題材を配列し、スモールステップで段階的、系統的に学ぶことができる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<p>○教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞の一体化を図り、学習指導要領で示された【共通事項】を軸とした児童に分かりやすい題材構成となっている。 ・本市が目指す確かな学力を育むために、自ら課題を見つけ、見通しをもって粘り強く学べるよう、巻頭部分に「学びの地図」を領域・分野別に示し、1年間の学習を視覚化するとともに、学習指導要領で示されている学習内容を児童にも分かりやすい文言で示している。また、巻末には「ふり返り」のページを設けて、学習内容を確認できるように構成されている。 ・人権を尊重し、登場するキャラクターの肌、瞳、髪の色が多様である。 ・郷土の芸能や音楽を学ぶことから諸外国の文化の大切さや多様性への理解を促す工夫や、生活や社会と音楽の関わりについて、音楽の学習を通して気づき考えるような工夫がなされている。(我が国の伝統芸能や音楽・演奏家からのコラム等を掲載) <p>○教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年ともに、「各学年のスタートに適したオリエンテーション的な題材」(1)「音楽を形づくっている要素との関わりを中心にした題材」(4～7)「わが国や郷土の音楽を学ぶ題材」(1)「各学年をまとめる題材」(1)とし、低学年10、中学年9、5学年8、6学年7の題材数で構成されている。 ・題材のねらいに沿って、歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞の教材がバランスよく配置されている。 ・紙面構成では、題材名を左ページ左に縦書きで示し、題材のねらいを児童に語り掛けるような表現でその下に掲載している。左ページ上部には教材名と、その上にその教材での学習のめあてを大きなフォントで示している。その後、活動文を配し、吹き出しや写真で主体的な学習をサポートし、右ページ右下にはその教材を指導する際の目安になる「音楽を形づくっている要素」を示している。また、各題材の最後のページには学習のまとめを配し、この題材で学習したことを振り返り、これからの学習につないでいる。 ・学習活動を「考える」「見つける」「歌う、演奏する、つくる」の3観点で説明し、それぞれの活動内容を関連させながら学びを広げたり深めたりすることができるように工夫されている。 ・鍵盤ハーモニカやリコーダーの導入を丁寧に扱い、1年ではドからソまでの学習に12ページ、3年ではリコーダーの導入に10ページを使い、その内リコーダーの紹介やタンギング指導等で5ページを使っている。 ・多くのページの右ページ右上に二次元コードが配置され、全ての歌唱・器楽教材の音源を聞くことができたり一人一台端末で素材を操作して音楽をつくり再生したりすることができる。また、サイトとリンクしている資料もあり、学習を深めることができるようになっている。6学年では、現代的課題となっている著作権について見開きの2ページで解説するとともに、二次元コードでJASRACの児童向けサイトを紹介している。 ・全学年に「歌いつごう日本の歌」のコーナーを設け、低・中学年は各3曲、高学年は各2曲掲載している。 ・裏表紙に、小学生が各地で郷土の祭りや芸能に取り組み、受けついでいる写真を掲載している。 ・「国歌 君が代」は、すぐに開くことができる最終ページに、見開きの2ページで配している。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
図画工作	図画工作	開隆堂
<p>答申</p> <p>「やってみたい」気持ちを大切に、児童にとって楽しく、興味や関心の高まる題材をそろえた教科書である。各題材の左下についている二次元コードから見られる動画は、題材の導入・オリエンテーションが短時間で分かりやすく、制作意欲をかきたてるように示され、学習のねらいが方向づけられるように工夫されている。この動画からの導入はとても有効であると考えられる。また、児童の作品数も多く、教科書に掲載されている作品を見ているだけで制作意欲が湧いてくるように工夫されている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ○教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・造形感覚や感性を働かせ、自主性や積極性を促す、児童にとって楽しく、興味・関心の高まる魅力ある題材をそろえ、個性や創造性、自己肯定感を培うよう配慮されている。 ・「小さな美術館」「みんなのギャラリー」では、我が国や諸外国の美術作品やその地域の特性を生かした造形作品が紹介され、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育成することや、我が国の文化や郷土の良さを学ぶことができるように工夫されている。 ○教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から ・各学年の教科書の題字は、小枝や毛糸・モール、貝がら・紙粘土等、図画工作の材料になるようなもので描かれていて、見ているだけでも楽しくなる表紙になっている。また、目次の横には、それぞれの題材の活動風景が写真で紹介されており、目次を眺めるだけでも各題材への興味・関心が高まるように工夫されている。 ・各題材名の横に学習のめあてとして、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」の3つの観点が示されており、本題材で特に育成したい資質・能力は下線を引き、赤字で示されているため、教員も子供も、この題材で学ぶ一番大切なことがよく分かるようになっている。 ・各学年の「造形あそび」を扱った題材のめあては、「知識及び技能」については、あえて明確に示さず、あいまいな表記になっていた。これは、造形表現を「色」や「形」「イメージ」といった学習指導要領の「共通事項」に示されているものだけに留めず、子供の活動の中から生まれてくる興味や関心を尊重し、造形活動の広がりを意識した題材設定になっているからだと考えられる。 ・短時間で発想の方法を知り、気軽に実験的に楽しみながら描くことで造形的な発想の方法(見方・考え方)を学ぶことができるように工夫された「ひらめきショートチャレンジ」が、各学年に設けられている。 ・作品づくりや作品の鑑賞等を通して、言語活動を中心にしたコミュニケーションを大切にする学習が多く、話し合いの観点は吹き出しで表示され、ねらいを焦点化している。また、二次元コードを読み取るとふりかえりシートがダウンロードでき、「書く」活動も重視していることが分かる。 ・造形遊びにおいては、協働性を意識し、仲間と関わり合いながら楽しく活動している姿が数多く掲載され、「もの」と人、人と人のコミュニケーションを大切に扱っていることが伺われる。 ・各学年巻末に設けられた「学びの資料」では、用具の安全な使い方や技能に関わる情報がすっきりとした分かりやすいレイアウトで掲載されている。また、巻末にあるので調べやすく、子供の自主的な活動を支援している。 ・一人一台端末も用具の一つととらえ、学年にあった内容で「タブレットたんまつを使おう」のページが設定され、子供が自主的、主体的に学習できるように工夫されている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
図画工作	図画工作	日本文教出版
<p>答申</p> <p>作品をつくるための力を育てるのではなく、つくることや見ること、感じたことを伝え合うこと等を通して、多様な考えを尊重し、創造する力を育むことを大切にしている教科書である。各題材は、「ものの動き」や「形や色のおもしろさや美しさ」等から、発想の手がかりとなる「視点」が紹介されており、さらに構想段階での考えや作品鑑賞の視点などを、時間の流れとともに、写真と吟味された吹き出しで表している。教科書を使って導入したり、学習計画を立てたりすることを十分意識したレイアウトになっている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<p>○教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図画工作の領域である「表現」と「鑑賞」が一体的に学習できるように、題材の配列が工夫されている。また、「共通事項」に示された「色」「形」「イメージ」を教科書全体で取り扱うとともに、活動と共通事項が結びつけられるように、「活動のヒント」や「鑑賞のヒント」が設けられている。 ・「教科書美術館」では、我が国や諸外国の美術作品、日本の伝統文化・技術が紹介され、さらに題材の中には、外国の児童の作品も掲載されており、伝統や文化、他国を尊重する態度を養うことができるように配慮されている。また「広がる図工」では、「ゲルニカ」等、平和教育を意識した作品が紹介され、二次元コードからアクセスできる動画を見ると、作品が生まれた歴史的背景や作者の思い等が詳しく学習できるように工夫されている。 <p>○教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図画工作では、創造的な発想を促す方法【学習のスタートの仕方】としては、「これで、何ができるかな（表現①主に造形遊び）」と、「これになるように何をつかおうかな（表現②主に絵や立体・工作）」の二つの学習展開によって、つけたい力が全く違ってくるといわれている。掲載されている題材がこの二つのいずれかであることがはっきりと識別できるため、学習のねらいがぶれる活動が生まれにくいことが予想される。さらに教科書の題材名の下のリード文で、学習のスタートの仕方、単元を通して大切にしたいこと等が示されているため、ねらいが焦点化され、本題材でつけたい力を確実に育成できるようになっている。 ・掲載された題材は「色」「形」「光」「触感」等で、この題材でどのような諸感覚を使い、何を学ぶことができるかが分かりやすく、材料や技法等、系統性を重視して配列されている。 ・完成作品の例は教科書にも掲載されているが、デジタルコンテンツでより詳しく鑑賞することができる。作品を拡大したり、360° いろいろな角度から見たりすることができる。そのため、紙面では完成作品の数よりも、制作段階の子供たちの様子を写真や吹き出しを使って表しているスペースが多くとられ、「活動内容」や「発想の広がり」、「学習の流れ」をつかみやすいように工夫されている。 ・どの題材にも友達と対話しながら活動する写真を掲載しており、学習途中の対話を重視していることが伺える。話し合う場面での視点や、考えて書くときの視点なども吹き出しの中に示されている。 ・ページ右下の二次元コードを読み取って見ることができるデジタルコンテンツでは、技法や材料、道具の詳しい扱い方や鑑賞作品の詳しい世界観などが紹介されている。また、巻末には「材料と用具のひきだし」として、技法や道具の安全な扱い方が写真やイラストを巧みに使って分かりやすく掲載されている。 ・各学年、表現したい主題がよく分かり、発達段階に即した子供らしい作品が掲載されている。また、各学年の最初のページで、保護者向けに図画工作科の目標を伝えたり学習活動への理解や協力をお願いしたりしているのも本教科書の特徴である。1、2年生の「上」では、幼稚園との接続を十分に意識し、文字を少なくし、大きな写真やイラストなどから学習の流れがつかめるように工夫されている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
家庭	新編 新しい家庭	東京書籍
<p>答申</p> <p>題材の導入ページに、タイトル、導入発問、学習の流れや、児童の身近な家族や学校の場면을写真やイラストで大きく示すことにより、学習の見通しが立てやすく、自分なりの課題をもって学習に取り組めるよう配慮されている。全ての大題材を3ステップで展開することにより、問題解決学習ができる流れになっており、主体的に生活する力の育成を目指す教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<p>○教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の見方・考え方の視点（協力、健康・快適・安全、生活文化、持続可能な社会）が「家庭科の窓」としてガイダンスの折り込みや各題材の導入で示されているので、これらの視点を意識しながら学習を進めることができる。 ・各題材は3ステップ（1 見つめよう、2 計画しよう・実践しよう、3 生活に生かそう・新しい課題をみつけよう）で展開されており、そのステップを繰り返すことにより、問題解決学習ができる流れになっている。 ・「成長の記録」に学習したことの自己評価と「次へのチャレンジ」を記入していくことで、児童が学習の振り返りを行い、自分の成長を感じることができるとともに、指導者は成長を見とることができる。さらに「生活を変えるチャンス」に結びつけることで、家庭実践を促すこともできる。 ・「日本の伝統マーク」を掲載し、日本茶や伝統食品、郷土料理、手ぬぐいなどの特集がある。さらに、47都道府県の郷土料理を調べることができるコンテンツが用意されている。自分たちの住む地域だけでなく全国各地の食文化にふれることで、食や調理への関心がより高まることが期待できる。 <p>○教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に実習が行えるように、調理実習のページ下に感染防止や新しい生活様式への対応が図や言葉で掲載されている。また、初めて実習道具に触れる時の不安感を解消し、安全に実習するため、巻末に手を載せて練習できる実物大の写真が掲載されている。（右手用、左手用が掲載されている。）食物アレルギーについても複数ページで取り上げられている。 ・「ゆでる調理おいしさ発見」では、ゆでると食品にはどんな変化が起こっておいしさが得られるのか、なぜそうするのかを理解して学ぶ「考える調理実習」の流れを取り入れることで、児童の主体的な活動を促し、資質・能力を育成できると考えられる。 ・「SDGsで作る私たちの未来」では、SDGsマークと家庭科学習内容の関連が特集として掲載されており、SDGsとの関連を意識しながらその後の学習を進められるよう工夫されている。 ・イラストや写真の男女の服装や発言内容が、性別による役割固定にならないよう配慮されている。 ・学習内容、実習内容ともに、基礎・基本から応用へと児童の発達段階に応じて配列されている。5年生で学んだ技能を6年生で再度使うことで、より確実な定着が図れるよう配慮されている。 ・防災教育については、災害への備えとして「ローリングストック」を意識し、保存食を活用した調理例が取り上げられている。 ・「持続可能な社会へ物やお金の使い方」では、消費者としての態度に資するよう、「物を生かして住みやすく」では、物を生かす視点から環境に配慮する視点が示されており、消費者としての基本的な知識や態度が身に付くよう配慮されている。 ・デジタルコンテンツが有効な内容に「Dマーク」が示されており、コンテンツの内容（動画、ワークシートなど）が書かれている。 		

教科・種目	教科書名	発行者
家庭	私たちの家庭科	開隆堂
<p>答申</p> <p>各題材は「1気づく・見つける」「2わかる・できる」「3生かす・深める」の3ステップの流れで構成されており、児童が見通しをもって問題解決学習が進められるよう工夫されている。また、易しいものから難しいものへとスモールステップの段階を踏むことにより、知識及び技能の確実の習得が図れるよう配慮された教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<p>○教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の見方・考え方の視点（協力、健康・快適・安全、生活文化、持続可能な社会）が各題材の最初に四つ葉のクローバーで表現されており、教科書全体にわたって配置されている。これにより、実践的体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質能力が育まれる。 ・3つのステップ（1気づく・見つける 2わかる・できる 3生かす・深める）で学習を進めることにより、問題解決的な学習ができる。ステップ3では、児童がさらなる課題に主体的に取り組めるような工夫がみられる。 ・各題材とも基礎的・基本的な内容の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開されている。また、題材配列が細かく区切られているので組み替えやすく、地域や学校の実態に応じて指導できるようになっている。 ・冒頭にガイダンスが設けられており、その中で、第4学年までの学習をイラストや写真で振り返ることで、これまでの成長を自覚するとともに、2年間の学習の見通しが持てるよう配慮されている。 <p>○教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者教育については、2学年を通して、複数の題材で学習内容と関連付けて取り扱われているので、消費者としての実践的態度が身に付けられるような工夫がみられる。 ・調理や製作の手順写真や図が児童の目線と同じようになるよう工夫され、見開きページを使って横に流れる記述になっているので、視線の流れにそって作業を進めることができる。また、巻末資料では、利き手ごとの包丁の使い方や針と糸の使い方が写真で示されている。さらに、食物アレルギーについて取り上げることで、安全・安心な実習ができるように配慮されている。 ・最初の調理実習では、調理題材を細分化して構成・配列することにより、細かなステップで学習をすすめることができるので、基礎・基本の習得を図る工夫がされている。 ・技能面の写真は、細部を拡大したり、イラストを添えたり等、丁寧に表現されている。特に、調理の手順についてはすべて写真で示されているので、児童が確認しながら作業を進めることができる。 ・題材の最初のページに掲載されている大きな写真やイラストを通して学習を見通せるようになっている。また、児童が見つけた課題を「マイめあて」として記入できるスペースを設けたり、資料を掲載したりすることにより、主体的に課題に取り組める工夫がされている。 ・製作実習の教材としてタブレットケースやマスクが取り上げられたり、SDGsの取り組みの具体例が紹介されたりなど、現代的な話題や課題が取り上げられている。 ・幼児や高齢者、障がいのある人、外国にルーツのある人など、様々な人を取り上げることで、児童が共生の視点をもって学習できるよう配慮されている。 ・デジタルコンテンツの中の「書きこみカード」は、児童の意見を一人一台端末上で共有できるので、学びを深めていくことができる。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
保健	新編 新しい保健	東京書籍
<p>答申</p> <p>学習活動の展開（「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」）が、ステップを踏みながら学習課題を解決できるように工夫されている。さらに、学習内容に関連した資料を各項末に掲載し、学習を家庭や地域に広げていくことができる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<p>○教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康や安全についての幅広い知識と教養を身につけ、健やかな身体を養うことができるようにするために、個人の価値の尊重や自主自立の精神、協力を重んずる態度を育みながら学習することができるようにしている。 ・小学校学習指導要領体育科に示された目標に則り、保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して、生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成することができるようにしている。 ・各項に「ステップ1」～「ステップ4」の活動を設定し、活動を通じて、思考力・判断力・表現力を育成することができるようにしている。 ・運動に関する内容を随所に積極的に取り上げ、運動領域との関連を図っている。 <p>○教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ステップ1」では、児童の生活場面を想起させる写真をダイナミックに配置し、身近な例から健康課題を見つけていることができるように工夫している。 ・各項の2ページ目の冒頭で「学習の課題」を明示している。「ステップ1」の活動を行った後で「学習の課題」を確認することで、「学習の課題」をより自分のこととして捉えられるようにしている。 ・児童が思考・判断・表現したことを書くための記入スペースを、適切な箇所に設けている。 ・「ステップ4」では、学習を踏まえて自分の生活を見直す活動を設け、学習したことを実生活で生かせるようにしている。 ・動画資料やワークシートなど、二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツが豊富に用意され、学びを効果的に深められるようにしている。 ・基礎的・基本的な知識は本文で簡潔にまとめられている。本文のなかで特に大切な部分はゴシック体で表記している。 ・各項末に、学習内容に関連した情報を「資料」として掲載している。また、児童が知りたい情報を豊富に掲載している。 ・他教科との関連として、理科・社会・家庭・総合的な学習の時間や学級活動との関連を明記している。 ・「マタニティマーク」「ハートプラスマーク」「ヘルプマーク」などの支え合いのためのマークや、こころの健康、いじめ、多様性、共生社会、感染症予防、コンピュータと健康、防災、ネット犯罪などが紹介されており、現代的な課題について配慮されている。また、表紙のイラストのように、冒頭からジェンダーについての配慮もされている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
保健	新版 たのしい保健	大日本図書
<p>答申</p> <p>児童の興味・関心を引き出し、スムーズに学習に入ることができるように工夫されている。また、学習の流れ（「つかもう」「話し合おう」「活かそう」）が明示されていて、「主体的・対話的で深い学び」が実現できる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<p>○教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての単元で、自らの課題を発見し、主体的に取り組み、資料から読み取る、友達と話し合うなど、対話を通して思考を広げて深めていく活動を通して深い学びが実現できるように工夫されている。 ・課題を発見する活動、課題を解決する活動、学習したことを生かす活動など、様々な活動により、思考力・判断力・表現力等を総合的に育成できるようにしている。 ・本市の人権教育にもつながるジェンダーについて記述している。 <p>○教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業と教科書のガイドとなる「この教科書の使い方」を設け、学習の流れを視覚的に示すことで、児童が学習の流れを理解し、見通しをもって学習を進めるように考えられている。 ・見開きの2ページで1時間の授業を完結できるようにしている。 ・単元とびらにおいて、学習への意欲づけを図る工夫がある。例えば、3年生では簡単なゲームを掲載し、学習の課題が身の回りの生活に関係のあることだと理解できるようにしている。4年生では手形を比べて体の発育を実感できるようにしている。 ・導入の活動「つかもう」では、児童にとって身近な題材を取り上げることで、主体的に学習に取り組めるようにしている。また、巻頭の折り込みを活用し、「つかもう」欄の下を隠すことで、児童の学習への興味・関心や集中力を高めることができるようにしている。 ・「考えよう」「話し合おう」「調べよう」などの活動の中で、グループ活動等、多様な活動を促す構成になっている。 ・家庭や地域において学習したことを活用できるよう「家・地域でほけん」というコーナーを設けている。 ・随所に「鉛筆マーク」があり、生活経験や学習したことを活用して、自分の考えや感じたことなどを記載できるようにしている。 ・見開きごとに、本文で基本的な知識をまとめている。さらに、「もっと知りたい」や「ミニちしき」などのコーナーで、学びを広げ深めることができるようにしている。 ・各章のまとめとして「学習のまとめ」を設け、学習したことを振り返り、自分の課題を見つけていくことで章全体を通した「深い学び」を実現している。 ・二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツが豊富に用意され、ICTを効果的に活用して自主学習や家庭学習を促す構成になっている。 ・巻末資料「はってん」では、SDGsと保健との関わりを示し、持続可能な社会の担い手の育成を目指している。また、パソコンやスマートフォンの使い方は健康な生活に大きく影響しているため、1ページを使って、大きく取り扱われている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
保健	新 小学校保健	大修館書店
<p>答申</p> <p>3ステップのシンプルな学習過程で構成しているため、学習の流れが分かりやすく、児童が主体的に学習を進められる。また、友達と話し合い、互いの考えを共有する対話的な活動を豊富に用意しているので、思考力・判断力・表現力を育成できる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<p>○教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領体育科の目標を踏まえて、保健の見方・考え方を働かせて、課題を見つけ、その解決を進める学習過程となるように紙面を構成している。 ・学習目標の達成のために、「課題をつかもう」→「話し合おう」「考えよう」「調べよう」→「生かそう・伝えよう」の3ステップで学習を進める展開となっている。 ・運動領域の学習内容を積極的に取り上げ（体育の窓）、運動と健康との関連について具体的な考えをもてるように工夫している。 <p>○教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間の授業を見開きの2ページで完結できるようにしている。 ・「生活の中のほけんをさがそう!」「なぜほけんを学ぶのかな?」では、生活の中にある健康や安全に目を向けることで、健やかな身体を養うことの重要性について理解できるようにしている。 ・「ほけんの学び方」では、友達の考えを尊重し、グループで協力しながら取り組む学習のポイントを説明し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を育成することができるようにしている。 ・各章のとびらでは、著名人を取り上げ、キャラクターとの対話を通して健康の大切さや健康についての考え方に触れることで、主体的な学びをスタートさせることができるようにしている。 ・各時間の学習課題を「きょうの課題」として示し、学習すべき内容を明確にしている。 ・学習活動の中に「話し合おう」「考えよう」という協働学習の働きかけがされていて、他者との対話を通して、自分の考えを広げたり深めたりできるようにしている。 ・毎時間の学習の最後に設けた「まとめ 生かそう・伝えよう」では、自分の生活を見直すなどして自己の課題を修正できる活動を適宜設定している。 ・各章の最後に、「学習をふり返ってみよう」のページを設けて、学んだことを現在や将来の生活に生かすことができるようにしている。 ・動画資料やウェブサイトの紹介など、二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツを充実させている。 ・「ながらスマホ」の影響や、インターネットから正しい情報を収集することについての内容も取り扱われており、「スマホ・ゲーム依存」が現代社会で問題になっていることも取り上げられている。 ・多様性の尊重がなされるように、男女の役割を固定したり国籍や障害の有無などに基づく差別や偏見につながったりしないように配慮している。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
保健	新わたしたちの保健	文教社

答申
 各章のとびらで、イメージしやすい写真や説明を配置し、スムーズに学習を開始できるようにしている。また、キャラクターの吹き出しを多く取り入れ、学習内容や学習活動が分かりやすく、児童が興味をもって主体的に学習に取り組むことができる教科書である。

- ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から
- ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から

○教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から

- ・学習指導要領に基づいて、基礎的な知識を理解し、児童が主体的・対話的でより深い学びをしていく中で、真に生きる力を身につけることができるようにしている。
- ・習得した知識をもとに、道徳心を培うことができるような実習を取り入れ、学習したことをより自分自身のものとして活用、実践できるようにしている。また、欄外での「つぶやきくん」の言葉で知識を広げ、周りの人たちへの感謝の気持ちなどを理解することができるようにしている。
- ・健康とはかけがえのないものであることを理解するとともに、これからの人生を豊かなものにするために、目標に向かって自分自身の課題を見つけ、前向きで明るく楽しい生活を営むことができるようにしている。

○教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から

- ・1単位時間の学習が4ページ～6ページで取り扱われている。
- ・単元のはじめには、学習の見通しをもって学習に入れるように、児童にとって分かりやすく馴染みがあり、イメージしやすい場面を記載している。
- ・各時間のはじめに男女の子供のキャラクターが会話しながら学習を進める設定によって、対話や協力が大切であることを意識させ、自分の課題としてとらえることができるようにしている。
- ・保健の先生、警察官などの大人のキャラクターを通して、基礎的・基本的な知識を理解し、その内容を習得することができるようにするとともに、児童自身が自ら学習しようとする意欲がいつそう高まるようにしている。
- ・「Episode」「もっと考えよう課」コーナーを設け、学習内容に深みを持たせるようにしている。
- ・5、6年生では自然災害への対処を自助・共助・公助の観点から理解し、より実践的な行動をとることの大切さを意識させている。
- ・課題について考えたことを全体やグループで深めていく活動よりも、個人思考で完結する構成の単元が多くなっている。
- ・単元の終わりの「もう一步先の自分へ」というコーナーで考えを記述する欄を設け、思考力・判断力・表現力を自然と身につけることができるよう工夫している。
- ・章末には、「宣言しよう！」として、学習を生かしてこれから大切にしたいことを記述するページを設け、学習内容を踏まえて考えたことを友達と伝え合うことで、学びをこれからの生活や学習に生かせる工夫をしている。
- ・二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツの充実を図り、より深い情報を見ることができるようにしている。

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
保健	小学保健	光文書院

答申

1時間を見開きの2ページで学習することを基本とし、「導入」「学習課題」「学習活動」「まとめ」「活用」を、学習の流れに沿って配置し、学習の流れが一目で分かるように工夫している。また、言語活動の充実を図るために、話し合い活動や記述する活動を多く取り入れ、自分の考えを広げたり、深めたりしていくことができる教科書である。

- ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から
- ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から

- 教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から
- ・児童が、健康や安全に関する幅広い知識と教養を身につけ、健やかな身体と自主自律の精神を養い、自他の敬愛と協力を重んずる態度を育むことができるようにしている。
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、児童が自分の健康課題を見つけ、その解決に向けて自ら進んで学び、考える力を育成できるように、様々な工夫をしている。
 - ・「話し合おう」という活動や「学んだことを生かそう」の項目で他者に伝える活動を提示することで、対話的な学習を促している。
 - ・人権教育に関連して、エイズなどの感染症に関する差別について記述している。

- 教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から
- ・意欲的で自発的な学びにつながるように「巻頭特集ページ」があり、保健の学習内容が身近に感じられるように、人気のスポーツ選手やクリエイターのメッセージが掲載されている。
 - ・「学習の進め方を知ろう」のページで、学習の進め方や課題解決学習において大切にしたいことを確認できるようにしている。
 - ・見開きの2ページで1時間の授業が展開されるようになっている。
 - ・各章ごとのとびらに学習内容のイメージがつかめる漫画を掲載し、児童の学習意欲や学びに向かう力を促進する工夫をしている。
 - ・学習の導入として「見つけよう」を毎時間設け、児童がこれから学ぶ内容を自分のこととして捉えられるように、これまでの経験をもとに考えたり、自分の生活を振り返って健康課題に気づいたりできる活動を設定している。
 - ・各単元のまとめとなる基礎的・基本的な指導事項は文頭に★マークを付けて示したほか、大事な用語や文は太字で目立たせ、目に入りやすくしている。
 - ・各単元末の「学んだことを生かそう」で、学習内容を自分の生活に生かす視点を用意することで、児童が学習内容を自分事として活用できる構成にしている。
 - ・「広げよう 深めよう」や各単元に掲載された二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツの資料で、児童の興味・関心に沿って広く深く学べるようにしている。
 - ・発展的な学習として、「スポーツ障害」（3、4年）、「人との接し方・距離感、SNSの使用」（5、6年）について紹介されている。特に、人との接し方や距離感は、現代的な課題であるコミュニケーションや人間関係構築力にもつながっている。
 - ・各章末に「学習のまとめ」を設定し、学習した内容を選択式の問題で確認し、振り返ることで確実な定着を図れるように工夫している。

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
保健	新・みんなの保健	Gakken

答申

各章のとびらで、大きな写真や絵を取り入れるとともに、「学習の進め方」と「学習の課題」を明示している。また、各時間を見開きの2ページで構成し、学習の流れが分かりやすく、児童が親しみを持って主体的に学習に取り組むことができる教科書である。

- ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から
- ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から

○教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から

- ・生活や経験を振り返ったり、実験など実践的な学習を随所に取り入れたりして、健康・安全についての基礎的・基本的な内容を実践的に理解することができるようにしている。
- ・児童一人一人の興味・関心に応じて学習に取り組むことができるようにしている。また、児童が様々に関わり合いながら、よりよい学びを生み出すことができるような問いかけや活動を設けている。
- ・すべての時間において、1ページ単位の3つのピースを完成させる形式で構成している。「①自分で考える」→「②友達やみんなと考える」→「③身につけたことを生かす」という決まった学習の流れを繰り返すことで、思考力・判断力・表現力を身につけることができるようになっている。

○教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から

- ・冒頭に健康と夢との関わりを明示し、保健学習への興味・関心を高めるようにしている。続いて、身近なことを中心とした保健の学習や健康への実践が、まわりの人や世界中の人の健康につながっていることを見渡せるようにしている。
- ・1単位時間につき見開きの2ページを基本構成とし、「学習の進め方」を最初に明示するなど、見通しをもって学習できるように配慮している。
- ・「心の健康」（5、6年）では、スクールカウンセラーへの相談が4例挙げられている。不安や悩みをかかえた時はスクールカウンセラーに相談することができるということを、具体的に示している。
- ・各章のとびらで、学習内容の全体像を示している。また、各時間の最初のページに「学習の課題」を設け、その時間で学習する課題を明示している。
- ・生活との結びつきを感じられるように、実験や体験的な活動を重視し、随所に取り入れている。
- ・「かがくの目」を随所に設け、児童の興味・関心を高め、科学的な理解に結び付けられるよう、「見えないものを見える化」した資料を掲載している。また、「ほけんのはこ」を各時間の最後に設け、学びをより広げたり深めたりすることができるようにしている。
- ・「もっと知りたい・調べたい」で詳しい資料を豊富に掲載し、児童の探究心に応じて学習したことを広げたり深めたりできるようにしている。
- ・章末の「ふり返る・伝える・つなぐ」で学習活動の振り返りを行い、学習したことを実生活で生かせるようにしている。
- ・二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツを豊富に用意し、児童の学びを支えている。
- ・運動、食事、休養、睡眠はもとより、一人一台端末の使用、思春期に起こる体や心の変化など、児童の日常生活と密接に関連した問題や現代的な課題を積極的に取り上げている。

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
外国語	NEW HORIZON Elementary English Course	東京書籍
答申		
<p>世界のことを知り、英語でコミュニケーションをしたいという児童の意欲と関心を引き出すために、多様な言語活動と多彩なデジタルコンテンツを配置した教科書である。見通しを持って学習に取り組むことができる構成になっており、スモールステップで繰り返し学習を積み重ねることができる。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに大きなテーマ（5年：日本でつながるわたしたち、6年：世界とつながるわたしたち）が設定され、8つのUnitがさらに2～3Unitから成る3つの小さなテーマに分けられている。小さなテーマの学習の学びを確かめるためのCheck Your Stepsでは、思考ツールなどを使って整理・発表し、定着を図る構成になっている。 ・各Unitは、Staring Out<Our Goal 単元の目標となる活動のモデル映像を見て見通しを持つ、さまざまな方法で単元の内容に慣れ親しむ>、Your Turn<単元ゴールの活動を見据えて、学習内容の定着を図る>、Enjoy Communication<言語材料をふり返りながら内容を広げ、単元のゴール活動を行う、コミュニケーションを楽しむ>、Over the Horizon<学習内容やテーマをもとに、視野を世界へと広げ、世界の文化を知る>で構成されている。Staring Outのアニメーション動画は学年や学年をこえてストーリーがあり、「続きが知りたくなる」工夫がされている。 ・スモールステップで繰り返し学習を積み重ねる単元構成で、アプローチを変えながら「うるし塗り」のようにスパイラルに活動が配置されている。 ・5年生の最初にLet's startがあり、3、4年生の学習内容がまとめられている。My Picture Dictionaryにも、5、6年生で学習する主な表現をまとめたページがあり、二次元コードから各単元のLet's Watchの動画を見て復習ができる。また、3、4年生で学習した主な表現のリストもあり、二次元コードから音声も聞ける。 ・「書くこと」「読むこと」の体系的な学習のために、単元末にSounds and Lettersがある。5年生のアルファベットの大文字・小文字の学習、アクセント、単語のはじめの音の学習から、6年生では、文字の音に慣れ親しむことを積み上げ、文を読む活動へと段階的に進んでいく。アルファベットを書く指導では、モデル文字を左利き児童にも見えるように配置している。 ・目的・場面・状況を伴った言語活動が設定されている。My Picture dictionaryには「英語を使って会話を広げよう」のページがあり、会話をするときに使える表現がまとめられている。二次元コードで音声も聞ける。 ・「CAN-DOの樹」(各学年のUnitやCheck your stepsごとに、できるようになったら色をぬる形式)が、My Picture Dictionaryに掲載されている。 ・208箇所の二次元コードからみられるデジタルコンテンツが678項目ある。<ストーリー、チャンツ・歌、モデル映像(実写)、デジタルワークシート(書き込み可)、資料映像、文字指導映像(文字の音と単語の音声を、絵から変化する「文字の形」と連動させて定着させるアニメーション)、物語探検スライドなど> ・別冊のMy Picture Dictionaryは、5、6年生を通して使用できる。二次元コードから、個々の単語の音声を聞くことができる。「マイ単語」が紙面・デジタル上にあり、自分で単語を追加することができる。Map of the WorldとMap of Japanがあり、二次元コードからDigital Mapも見ることができる。巻末に索引(日→英)がある。 ・SDGsに関連する内容は、特に6年生に多く配置されている。どの教科と関連があるかが、単元の最初のページにマークで明示されている。 ・A4判。5年：96ページ、6年：96ページ、My Picture Dictionary：48ページ。巻末には、絵カードやコミュニケーションカード(各単元の単元末の言語活動で使用する)が付いている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
外国語	Junior Sunshine	開隆堂
答申		
<p>主体的に学習する意欲を高めるために、児童が学習の道筋を見通し、学習の成果や課題を確かめることができる構成の教科書である。児童の共感を得るような題材と設定が工夫されており、豊富なデジタルコンテンツも多数配置されている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・1年を見通す導入のページの後、3つのLessonごとにLet's Checkがあり、児童が成長を実感できるように構成されている。Let's Checkは年3回あり、Questionによる紙ベースの問題と、Interviewのようなパフォーマンス課題で構成され、学習したことがどのくらい身についているかを確かめることができる。 ・各Lessonは次のとおりに構成されている。1時間目：映像を視聴し学習する英語に出会い見通しを持つ活動、慣れ親しむ活動、使ってみる活動。2、3時間目：映像を視聴しさらに英語に出会う活動、慣れ親しむ活動を積み重ねる、音声で慣れ親しんだ英語を文字に結びつける活動。4、5時間目：Lesson末のゴールに向けて活動し、自分の考えや気持ちを伝えあう。6時間目：ゴールの活動に向けて伝える内容の整理、実際に伝え合う活動。7、8時間目：自分のことを伝え合うゴール活動。各Lesson末には、海外の生活や文化の紹介や読み物などがあり、それらを通してLessonの学習を復習する。Lessonの最初のページにはGoalが示され、どのような順序で学習を進め、何ができるようになるのかが一目でわかるようになっている。 ・既習事項を繰り返し使用し、定着を図るために2時間に1回程度のSmall Talkを配置している。 ・5年生用には3、4年で学習したこと、6年生用には5年で学習したことを、どのような表現を学んだかイラスト付きの見開きの2ページでまとめている。いずれも、二次元コードから音声が開け、音声は速度調整（0.75倍～1.5倍）ができる。 ・「書くこと」「読むこと」の体系的な学習は、教科書各ページの下と巻末に示されているSounds and Lettersで、少しずつ学習する。5年生では、アルファベットの大文字、小文字から始め、6年生にかけて文字の音を学習する。Story Timeに「読むこと」の学習用に既習表現や語句を用いた短い読み物がある。 ・「英語を使いながら学ぶ、学びながら使う」工夫がある（単元内にLet's TryやActivityが多数ある）。 ・各学年ともに巻末に折り込み3ページのCAN-DOチェック表（厚手の紙を使用）がある。児童が自分でチェックし、コメントを書くことができる。CAN-DOチェック表の裏面は、「英語すごろく」になっている。 ・467のデジタル学習コンテンツがある<アニメーションや資料動画など>。 ・Let's Watch and Thinkは、登場人物の成長を軸にしたストーリーがあり、児童の共感をもとに学びを後押しする工夫がある。英語のきまりや学習や活動のポイントを紹介する3種のキャラクターが紙面の各所に掲載されている。 ・各巻の「授業で使える20の表現」でClassroom Englishが紹介されている（5、6年で同じ表現）。二次元コードから音声が開ける。 ・Word Bookが各学年で1冊ずつ用意されている。二次元コードから、個々の単語の音声を聞くことができる。掲載語のうち271語は、特に重要語として★マークがつけられている。巻末に索引（日→英）がある。 ・世界の文化や生活に触れられる工夫があり、単元の最初の見開きのページの右下等に、評価領域・観点、他教科等との関連を示すマークがある。SDGsに関連するテーマもあつまっている。 ・A4判。5年：128ページ、6年：128ページ、5年Word Book：33ページ、6年Word Book：33ページ。巻末カードは、5年：アルファベット大文字・小文字、6年：アルファベット大文字・小文字、文のつくり。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
外国語	CROWN Jr.	三省堂
答申		
<p>単元末の言語活動に向けた目標を児童が自ら設定したり、学習過程を明示したりすることを通して、児童が見通しを持って主体的に学習に取り組むことが出来る構成の教科書である。ことばや世界に関心を持ち、楽しみながら学ぶことのできる工夫もされている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・HOP→STEP→JUMP で、学ぶプロセスが明確になっている。Unit のテーマを設け、まず、HOP (Unit 全体の見通しを立てる)、その後に2～3の Lesson から成る STEP を配置している (例: 5年生 Unit 1 「自己紹介をしよう」 Lesson 1 My name is Jun. Lesson2 I play soccer on Tuesdays.)。Unit の最後には JUMP (これまでの Lesson で学習したことを、目的・場面・状況を考えて表現する) がある。HOP のページには、Unit 全体で学習する内容の見通し図がある。また、HOP・STEP・JUMP を通してどんなことを伝えたいかを自分でゴール設定し、My goal として記述できる箇所がある。 ・各 Lesson は、導入ページの Panorama (インプット)、言語活動の中で言語材料を学習する2～3つの Part (インプットからアウトプットへ)、まとめの活動を行う Step-up (アウトプット) で構成されている。 ・インプットとアウトプットを無理なくつなぐように、スモールステップで語句や表現を丁寧に学習できるよう配慮されている。 ・5年生のはじめの「英語で言ってみよう」では、3、4年生で学習してきた語句や表現を、活動を通してふりかえることができる。6年生のはじめにも同様に「英語で言ってみよう」がある。My Dictionary に、5、6年生で学習した表現をまとめたページがある。 ・「書くこと」「読むこと」の体系的な学習のために、ABC Fun Box において、5年生～6年生にかけて7つのステップで文字を書くこと、単語や文を作ることを学習する。Unit の学習後には Story Time があり、「ケンの冒険」と「世界のおはなし」(例: The North Wind and the Sun) の2種が掲載されている。 ・巻末に「英語でこんなことができた!」があり、当該学年の各 Unit で何ができるようになったかをチェックできる。My Dictionary にも学年ごとに5領域で何ができるようになったかをチェックするリストがある。 ・教科書紙面には、175箇所の二次元コードがある<扉ページの写真の関連事項、「話してみよう」のモデル動画、「聞いてみよう」の動画、ワークシートなど>。 ・「ミニ情報」がページの下にあり、英語や単元で紹介された事柄の背景知識等が記載されている。学習のヒントや気を付けることを紹介する3種のキャラクターが紙面の各所に掲載されている。チャンツも3種類(文字と音のつながりを学ぶ Sound Chant、活動で使う語句を学ぶ Word Chant、表現ややり取りの仕方を学ぶ Phrase Chant) があり、各 Lesson に配置されている。 ・5、6年生を通して使用する別冊の My Dictionary がある。二次元コードからは個々の単語の音声は聞け、「単語ゲーム」(絵を見て音声を聞き、文字カードを選択する) やチャンツなども行える。巻末に索引(日→英)がある。「会話をつづけるくふう」も掲載されている。 ・Hello, World! は、世界の文化や生活に触れられたり、日本のことについて新たな発見ができたりする工夫がある。他教科の学びを活かしたり、SDGs への理解を深めたりする題材も入っている。 ・A4判。5年: 112ページ、6年: 112ページ、My Dictionary: 49ページ。巻末には、5年: 絵カード(アルファベット大文字・小文字、月、教科 など) カード(L1自己紹介、L3友達や家族の紹介 など) 6年: 絵カード(行った場所と楽しんだこと、ものの変化 など) カード(L2地域紹介 など) がある。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
外国語	ONE WORLD Smiles	教育出版
<p>答申</p>		
<p>児童にとって分かりやすい豊富なインプットとアウトプットへつながる言語活動が設定され、聞くこと・話すことを礎に、段階的に読むこと・書くことを学ぶ構成の教科書である。アレンジしやすいシンプルな紙面で、表現意欲を高める言語活動が配置され、巻末の教材も豊富である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・表見返しにある1年間の「学びのロードマップ」で、各 Lesson で何を行うかが示されている。3～4つの Lesson の後に、発展的な言語活動を行う Let's Read and Act、日本と海外の違いや共通点を学べる Let's Look at the World が配置されている。アレンジをしやすいシンプルな構成である。 ・各 Lesson の最初に学習目標(Goal)が示され、Lesson の最後には学習を振り返る4つの設問があり、それらの3つは「知識・技能」に、1つは「思考・判断・表現」の観点に対応している。「主体的に学習に取り組む態度」についても振り返りができるような工夫も紙面上にある。Lesson の構成は次のとおり。Let's Watch 映像を見てどんなことを話しているのかを考える、Let's Say It Together/Let's Sing 口慣らしをする、Let's Listen 聞く、Activity やり取りなどの活動をする、Let's Read/Let's Write 文を読む・書く、Final Activity 総合的な発信活動(やり取り/発表)、Sounds and Letters 音声や文字の特徴を学ぶ、Review/Lesson をふりかえろう 復習・自己評価をする。 ・分かりやすい豊富なインプットから無理なくアウトプットができる構成で、聞くこと・話すことから段階的に読むこと・書くことを学ぶ作りになっている。 ・5年生のはじめに3、4年生の学習内容を、6年生のはじめに5年生の学習内容を振り返る Let's Start Together がある。 ・各 Lesson の中で、読むこと・書くことが段階的に学べるように、スモールステップで進められている。各 Lesson の最後には Review があり、書くこと・読むことに分けて復習や確かめができる。体系的な学習については、5年生では、アルファベットの読み方と形・書き方を扱い、アルファベットの音にも気づかせる。6年生の後半には、文構造への気づきを促す活動が設定されている。 ・「やってみよう」と思える活動がすぐにできるように、教科書内に4ページにわたる大きな日本全国の「名所・名物マップ」(5年生)、世界の「名所・名物マップ」(6年生)がある。 ・1年間の学習目標が明示され、「英語でできるようになりたいこと」を児童が書くことのできる欄が、各学年のはじめに設けられている。 ・5、6年生全体で、二次元コードから177のデジタルコンテンツが利用できる<活動モデル動画、口慣らし・歌・会話・発表などの音声、資料など>。 ・6年生の最終単元では、これまで学習したことを使って自分のことを書く My Book (折りたたむと8ページのミニブックになる)を作成し、中学校での自己紹介にも役立てることができる。 ・各巻末に My Word Bank があり、二次元コードから、カテゴリー内の単語の音声を順に聞くことができる。 ・SDGs は、活動をとおして触れる機会がある。海外の子供たちの生活を知る World of Smiles もある。 ・A B判。5年：116ページ、6年：108ページ。5年生用は、「活動用シール」、巻末カード(アルファベット大文字・小文字、月など)巻末ワークシートも豊富。6年生用は、巻末カード、これまで学習したことを使って自分のことを書く My Book がある。各ワークシートの裏には「Final Activity をふりかえろう」があり、当該ワークシートを使って行う単元末の言語活動の振り返りができる。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
外国語	Here We Go!	光村図書
答申		
<p>学習を通して何ができるようになるかを児童がよく理解して学習が進められるように、単元のゴールまでの流れが見える構成の教科書である。既習表現の活用を促すしかけや、楽しいストーリーと豊かな話題を通して学ぶ工夫がされている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・Unitのストーリーを中心に、学年の目標を達成できるよう、各学年をそれぞれ3つに分けてテーマを設定している。5年生では、自分のこと (Unit 1-3)、身近な人のこと (Unit 4-6)、地域のこと (Unit 7-8)、6年生では、日本のこと (Unit 1-3)、世界のこと (Unit 4-6)、将来のこと (Unit 7-8)である。それぞれのテーマの学習が終わった後 (年3回) に、まとめのページ「世界の友達」「You can do it!」がある。ここでは、学んだ表現を使って理解、発信する場面が設定され、パフォーマンス課題も配置されている。各Unitに5領域中の重点化領域が設定され、テーマごとに少なくとも1回は各領域の評価の場面が示されており、バランスのとれた指導と評価ができる設計である。巻末に「All About Me」のシートがあり、Unitの学習が終わるごとに自分のことを書き込み、学年の最後には自己紹介に使えるシートが完成する。 ・各Unitの導入 (Hop!) ではゴールを確認し、このUnitの中でどのような学習をするのかの見通し図が示されている。イラストやアニメーションのストーリーによって、目的・場面・状況を確認できる。展開 (Step!) ではHop!のアニメーションの場面を再び視聴し、学習する表現に気づき、聞く活動とチャンツで表現に慣れ、既習の表現も使いながら伝え合う活動が設定されている。単元末 (Jump!) では、Unitの中で学習したことを使って言語活動に取り組む。学習が達成できたかどうかは、「ふりかえろう」で振り返りをするつくりである。 ・Small Talk やPlus One などによって、既習表現の活用場面を設定している。Phrase Hunt の二次元コードから、言語活動で使えそうな既習表現も見ることができる。 ・各学年のはじめにはLet's Start があり、5年生では3、4年生の学習内容を、6年生ではアルファベットの復習をする。各学年ともに「いつもたいせつ」 (Smile, Eye Contact, Clear Voice, Response) や言葉の準備運動「どんな気持ちかな」「気持ちをこめて伝えよう」が掲載されている。Picture Dictionary の中にも、5年用では、外国語活動と5年生で学習する表現、6年用では、5年生および6年生で学習する表現がまとめられている。いずれも二次元コードから音声を聞くことができる。 ・スモール・ステップで「書くこと」「読むこと」が体系的に学習できる。5年生ではアルファベットの名前と形を丁寧に学習し、それ以降はアルファベットの「音」の学習、「単語を読む」ことが中心である。6年生では「単語を書き写す」「文の一部、文を書き写す」「一文を書く」ことを行う。英語の物語も掲載されている。 ・学年ごとの「目標」と5領域に分けて「できるようになること」が明示され、自己評価をする欄が設けられている。5年生では、6年生の目標が、6年生では中学校の目標が同じページ内に示されている。 ・5、6年生で合計611点の二次元コードがある<アニメーション、実写動画、音声、画像・PDFなど>。 ・取り外しができるPicture Dictionary が学年ごとに1冊ずつある。二次元コードからカテゴリ内の単語の音声を順に聞くことができる。 ・「世界の友達」などで、世界の多様性に気づく工夫がされている。他教科の連携にはアイコンが付され、SDGsについても取り上げられている。 ・AB判。5年：110ページ、6年：110ページ、Picture Dictionary 5年：25ページ、6年：25ページ。5年・6年：巻末シート (All About Me)、5年：巻末カード (アルファベット大文字・小文字色、月など) 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
外国語	Blue Sky elementary	啓林館
答申		
<p>学びの見通しが持てるように単元のゴールとそれにつながるめあてが明確に示され、スモールステップで語句や表現を使いながら身に付け、コミュニケーションを楽しむことができるような構成の教科書である。英語を学ぶ活動を通して考えることを促すしかけや、豊富なデジタルコンテンツがある。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・各学年、1つのPre Unit、8つのUnitと、3つのReviewで構成されている。Reviewでは、Try（パフォーマンステストに使うことを想定し、評価の参考になるコミュニケーションのポイントも示されている）とChallenge（掲示物、広告、グラフなどを見ながら音声を聞いて、質問に答える）で構成されている。 ・各Unitは、とびら（言葉を使う場面に出会い、考える）、Step1、2（インプット活動＋ミニアウトプット活動で使いながら言葉に慣れる）、Step3（Step 1、2で学習したことを使って、まとめの活動をする）、Look Back（振り返りをし、できるようになったことを確認）、Did you know?（世界の文化や習慣について学ぶ）、Let's Read and Write（読むこと、書くことの学習）で構成されている。とびらでは、ゴールを確認し、各stepで何を学習するのかが示されている。スモールステップで繰り返しながら学習できる作りになっている。 ・5年生のPre Unitは、3、4年生で学習した語句や表現に触れることができる。6年生のPre Unitは、5年生の学習をふり返ることと、英語の語順について知ることがゴールになっている。 ・Let's Read and Writeで、「読むこと」「書くこと」を一つのまとまりとして扱っている。まずアルファベットの名前と形を識別して書くことから学習し、文字と音の関係について学び、読むことと書くことの力を養う順で学習し、体系的な学習ができるように配慮されている。各学年で一つずつStoryも配置されている。 ・「コミュニケーションに大切なこと（発表、やりとり）」をまとめたページがある。「会話を楽しむフレーズ集」が巻末に付録シートとしてついている。折り込み3ページのパノラマ世界地図（5年）、パノラマ日本地図（6年）がある。 ・各学年ともにCan-Do List（できるようになったことリスト）があり、児童がチェックマークを入れる形式になっている。各Unitの領域別項目と、別立てでアルファベットと単語についての項目についても、チェックできるようになっている。 ・合計320のデジタルコンテンツがある<リスニング問題の音声、Jingle、単語クイズ（音声を聞いて、イラストを選ぶ）、世界の子供たちが自分のことについて話す映像、言語材料の使用場面が分かるアニメーション、Chant、Hints（語彙リストから選択して英文を完成させ、英文全体の音声が聞ける）、単元末の活動のパフォーマンス例>。 ・各学年の巻末にWord Listがある。二次元コードからは、各単語の音声を聞くことができる。単語は基線上に表記されているが、Word Listの最初のページにある二次元コードから4線上の表記も見ることができる。 ・異文化理解、SDGsについても関心が高められるように工夫されている。他教科との連携については、例えば、5年生のStoryで、空の色や太陽などを観察して天気の変化について考える理科に関連するものがある。世界各地の子供たちが自分の国や自分のことを話す映像を二次元コードから見るができる。「Did you know?プラス」では、外国の文化やSDGsに関連する取り組みも紹介されている。 ・A4判。5年：132ページ。6年：132ページ。5年：巻末カード（アルファベットの大文字・小文字、Unit1からUnit8に対応するカードがついている。）6年：巻末カード（Pre UnitからUnit8に対応するカードがついている。） 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	新編 新しい道徳	東京書籍
答申		
<p>各学年の教科書では、自己を見つめ、他人を思い、社会と関わり、生命や自然を尊ぶことができる「心の力」を育む構成となっている。学習の流れを導入教材で学習の進め方と授業の様子を具体的に示すことで、授業にスムーズに接続することができる教科書である。また、読み物教材とは異なった形式の教材を開発し、様々な活動の中で議論させることを促し、児童の多様な考えを引き出すよう工夫されている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習で扱う「教材」を要として、他教科の学習や地域・家庭での活動を意識したコラム「つながる・広がる」を有機的に組み合わせ、現代的な課題に取り組む5つのユニット「安心・安全」「情報モラル」「いじめ（いじめの防止）」「いのち（生命尊重）」「じぶん（自己肯定感）」により、道徳的価値に迫ることを通して「いじめをしない、許さない心」などを育て、「心の力持ち」になる工夫がされている。そのことが、目次において、様々なマークの説明とともに示されている。 ・学習指導要領に示されている項目の中で、全学年に「生命の尊さ」、各学年で重要と考える内容項目については、巻頭「これから1年間で学ぶこと」のページで3つの複数教材の配置が示されている。 ・2年以上の学年において、巻頭の折り込みページの「道徳の学習を始めよう」のページで学習活動を紹介し、授業のイメージや学習意欲が膨らむようにしている。また、「ちょっと話し合ってみよう！」ではショートストーリーを読んで話し合うことで、授業の流れや様子を分かりやすく示し、児童が道徳授業のイメージをもって主体的に学習できるよう工夫されている。 ・各教材とも冒頭に教材のタイトルとともに学習のテーマを示し、児童が何を学習するかという見通しをもって学習に臨めるよう工夫されている。低学年では、導入として活用できる投げかけの言葉「はじめに」が掲載されている。また、挿絵や写真が引き立ち、児童にとっては、自我関与して思考を深めやすくなっている。 ・教材末に、ねらいに迫るための中心発問を示す「考えよう◎」と学んだことを今後の生き方に生かしていくための発問例（価値の一般化、自分事として考える）「考えよう○」の2つの発問例が示されており、児童にとっては自ら考えを進めやすく、教師にとっても柔軟に授業展開を考えることができるよう工夫されている。中心発問例は、主人公の心情を問う発問が中心であり、中心場面絵とも合っている。 ・学びを広げるために、すべての教材に多彩なデジタルコンテンツが設けられている。個別最適な学びを支援するための「ろうどく」「スライドショー」、協働的な学びを広げるための「デジタルノート」を活用できる。 ・巻末には「考えるためのツール」（心のメーター、心情スケール、心の地図）が3例載っている。自分の考えを可視化できる「心のメーター」を活用することで、友達の考えと比較し、自分の心を深く見つめることができるよう工夫されている。 ・様々な活動の中で積極的に議論することを促し、児童の多様な考えを引き出せるように、クイズ、学級新聞、漫画など、これまでの読み物教材とは異なった形式の様々な活動の中で議論できる教材を全学年で取り上げ、「考え、議論する道徳」をさらに具体的に進めている。 ・ねらいとする道徳的価値を達成するために、読み物教材の後に全学年2か所「出会う・ふれ合う」のページを設けている。その中でコミュニケーション活動を通して人間関係の構築につながるよう工夫されている。 ・全学年に情報モラルを扱った教材が配置されている。また、防災教育として、東日本大震災（2、4、5年）と鹿児島豪雨（6年）が1教材ずつ、平和学習として6年「東京大空襲の中で」が掲載されている。 ・本県の教材は掲載されていない。 ・教科書は、AB判、35教材、4年生では172ページとなっている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	小学道徳 はばたこう明日へ	教育出版
答申		
<p>道徳で学習する課題の中から、「いじめをなくす」「生命を尊重する」「情報と向き合う」など、重点テーマとして位置付けている。教材ごとに、いくつかの発問で構成した「学びの手引き」を設け、児童に問題解決的な学習や体験的な学習を促すことにより、主体的に考え、議論しながら道徳的価値についての学びを深められるよう工夫された教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ問題」は、直接的な教材だけではなく、集団や社会との関わりを考える間接的な教材で発達段階に応じてスパイラルに学習することによって、考えを深めていけるようになっている。 ・生命を尊重する教材として、児童と同じ年齢の実話や詩、物語など、多様な教材で命の様々な側面を考えられるよう構成されている。 ・「情報と向き合う」教材として、電話や学級新聞、メールなどを題材にした多様な情報モラル教材を全学年に掲載している。 ・目次において、教材は、児童に分かりやすい言葉で内容項目ごとにまとめて掲載されている。全学年で大切にしたい「生命の尊さ」と各学年で大切にしたい内容項目（巻末の学習内容一覧）は、連続して学習することで道徳的価値について多面的・多角的に考えることができるよう工夫されている。また、重点化を図っている内容項目として、発達段階に応じて配置している。 ・教科書の巻頭に学びのガイダンスとして、「道徳で学習すること」「道徳ではこんな学び方をするよ」「道徳の学習をもっと広げよう」を設け、道徳の学習方法が示されている。また、巻末には、「学習を振り返ろう」と「1年間の学習を振り返ろう」を設け、自分の成長を感じることができるよう工夫されている。 ・教材の冒頭にその教材で扱う内容項目を児童に分かりやすい言葉で示した学習のテーマとキャラクターによる導入で活用できる言葉「導入の問いかけ」、同じテーマで連続して学習する教材名を示している。また、内容項目ごとに色や絵柄で区別して表現されているので、学習の視点が分かりやすい。 ・教材末に設けた「考えよう」「やってみよう」「深めよう」「つなげよう」で構成された「学びの手引き」により、問題解決的な学習や体験的な学習を促し、児童が道徳的な課題について多面的・多角的に考えることができるよう工夫されている。また、キャラクターの発言は、児童の多様な考えを引き出すきっかけづくりに活用できる。「学びの手引き」は、丁寧で発問例が多いので、教師にとっては参考になる。 ・「考えよう」では、授業の展開段階で活用できる発問例を2つ設けている。その中で、道徳的価値に深く関わる中心発問（☆の発問）は、「特に考えてほしい」発問としている。行為について問う発問が多い。 ・問題解決的な学習に適した教材には、教材の前に導入ページを設けることで、児童自身が道徳的課題に気づき、問いを持ちながら学習に取り組むことができる。各教材末に「自己評価欄」がある。 ・「考えよう」や「モラルスキル教材」の中に設けられた「やってみよう」や「教材の前に位置付けた導入ページ」では、書いたり、話し合ったり、演じたり（動作化や役割演技など体験活動）などの言語活動が充実するよう工夫されている。また、授業で学んだことを生活とつなげて考え、実践に生かすことができるよう適時「つなげよう」を設けている。また、SDGsの資料やデジタルコンテンツも多彩である。 ・読み物教材だけではなく、視覚的に児童の興味・関心を喚起する大きいイラストや絵本を用いた教材、絵から考える教材など多様な教材が掲載され、児童の読む負担を減らしている。 ・本県の教材は、5年「稲むらの火」が掲載。防災教育として、東日本大震災（2、3、4、6年）がある。 ・教科書は、AB判、30教材と5つの補充教材（1年は4本）、4年生では162ページとなっている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	道徳 きみが いちばん ひかるとき	光村図書
<p>答申</p> <p>全学年とも、年間を三つのまとまりに分け、内容項目A～Dの四つの視点が、まとまりごとに重点を置いて配置されている。現代的な課題については、「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」の四つのテーマを取り上げ、二つの教材とコラムを組み合わせた「ユニット」を形成して位置付けられ、確かな学習経験となるよう配置された教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・年間を4月～7月、9月～12月、1月～3月の三つのまとまりに分け、内容項目の中で重点を置いた教材が配置されている。(1学期はB、2学期はC、3学期はA) また、内容項目とは別にまとまり(学期)ごとにテーマを設定しており、大きな単元学習となっている。内容項目の一覧は巻末の「先生へ」に示されている。 ・年間4か所(低学年は2か所)に位置づけられたコラムには、いじめ問題や情報モラル等の現代的な課題について、教材と組み合わせて考える内容が取り上げられ、課題を自分事として受け止め、自己の生き方について考えられるよう工夫されている。 ・「生命の尊さ」については、全学年に教材が三つ(学期に一つ)位置づけられており、児童が「命」について多面的に考えを深められるよう工夫されている。 ・3年以上の巻頭に、「道徳の学び方」が設けられ、学習方法(考え方)と学習内容が示されている。学習方法(考え方)は、読むときには「考えたいことに気づく」、話し合ったり書いたりするときには「よりよい生き方について考える」「学んだことをつなげる」と示されている。 ・全学年の教材の冒頭には、教材タイトルとともに「主題」とキャラクターによる児童への「呼びかけの言葉」が示され、児童の経験や考えを引き出すことで主体的に学習に取り組むことができるよう配置されている。 ・全学年を通して、教材末の「学習のてびき」には「考えよう・話し合おう」が設けられ、教材を通して何を学ぶか意識できるよう「めあて」(太字部分)が示されている。その上で、自分や日常生活に結びつけたり、問題を解決するためにどうすればよいのかを考えたりする「発問例」が二つ～三つ置かれ、一つには、◎がつけられている。「どうして・・・」といった行為に対する理由を問う発問が多くみられる。また、「つなげよう」が設けられ、教科で学習する内容との関連付けや関連する図書の紹介などが示されている。 ・全学年を通して、体験的な学習「演じて考えよう」が設けられており、役割演技を通して、児童が実感をもって道徳的価値について考えが深められるように工夫されている。 ・自己評価の記録を残す「学びの記録」が、全学年3か所(まとまりの学習の区切りごと)に位置づけられ、シールや書く活動を通して自己の変容や成長を振り返ることができるよう工夫されている。 ・読み物教材だけではなく、視覚的に児童の興味・関心を喚起する漫画形式の教材、見開きの一枚絵や写真からなる多様な教材が位置づけられており、児童を教材に引き込み、自ら考えることができるよう工夫されている。 ・巻末には、「学びの道具箱」として児童の学習意欲を喚起し道徳性を培う助けとなる資料(役割演技、カードを使った交流など)を取り上げ、対話から生まれる「気づき」を楽しむ学習活動に配慮している。 ・3年以上の巻末付録には、日本各地の伝統文化や各地の取組が紹介されている。また、児童の思考を広げ深めるデジタルコンテンツも多彩。文字の大きさや配置、写真や絵の色使いなど、ユニバーサルデザインの観点に配慮している。 ・防災教育として、阪神淡路大震災(4、5、6年)と東日本大震災(3、5年)を1教材ずつ掲載している。 ・情報モラルに関する教材は、各学年に2教材配置されている。 ・本県に関連する教材は、6年「エルトゥールル号ー友好の始まり」が掲載されている。 ・教科書は、B5変型判、35教材、4年生では184ページとなっている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	小学道徳 生きる力（別冊「道徳ノート」）	日本文教出版
答申		
<p>本冊と別冊「道徳ノート」の2分冊構成である。重要テーマ「いじめの防止」について、いじめに関する複数の教材を「心のベンチ」と組み合わせ「人との関わり」としてユニット化することで、互いを理解し、認め合える人間関係を育むことができる教科書である。和歌山県の郷土資料が多い。別冊として、教材ごとに作成された「道徳ノート」には、その巻頭において使い方が示され、授業中の書く活動や振り返りに活用できる。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・教材はすべて見開きの2ページ単位となっており、児童が集中しやすい構成である。 ・現代的な課題「人との関わり」「安全なくらし」「情報モラル」「持続可能な社会」については、発達段階に応じて各学年3回学習できるよう配慮されている。そのことが、様々なマークとともに目次に示されている。 ・個人の価値を尊重するという観点から「いじめの防止」を重点テーマの一つとして捉え、いじめを直接的に扱う教材と間接的に扱う教材、いじめ防止に関するコラム（心のベンチ）を組み合わせた「人との関わり」ユニットとして学期ごとに設けている。いじめに関する1年間の教材数は、各学年7～8教材である。（目次に示されている） ・継続して学習することで、より学習効果が期待できる項目については、発達段階に応じて全学年に3教材配置されている。本冊巻末には、学習内容一覧が掲載され、重点項目（3教材）が示されている。 ・教材に関連するコラム「心のベンチ」のページが挿入され、テーマに合わせて活動したり多面的・多角的に考えたりすることで、自己肯定感を高め、より深い学びへと思考を進めることができるよう配慮されている。 ・巻頭のオリエンテーションのページの「道徳のとびら」や「道徳の学び方」では、学習内容やねらい、学習方法が写真とともに解説され、「考える道徳」「議論する道徳」を視覚的に捉えられるよう工夫されている。 ・冒頭には「主題名」を明示し、児童が道徳的価値と関連付けて思考を進めることができるように配慮されている。また、生活文が多く、「あらすじ」と「登場人物の絵と名前」が掲載されているので、児童が自我関与して考えやすい。また、各教材とも挿絵が鮮明で効果的に児童の思考を助けている。 ・一つの教材に「導入の発問例」「考えてみよう」（思いや考えを問う中心発問例）、「見つめよう・生かそう」の3つの発問例が簡潔に示されているため、指導構想に柔軟に生かすことができ、児童が自ら考えを進められるよう工夫されている。 ・問題解決的な学習や体験的な学習に適している教材には、「ぐっと深める」が新設され、主体的・対話的で深い学びの手立てとして、役割演技や動作化の写真を提示し、児童の配置や小道具、配慮事項などが具体的に示されているため、授業展開で参考にできる。 ・全教材にデジタルコンテンツがあり、偉人・伝統と文化・国際理解等には動画やスライドショー、他にも心情メーターや思考ツール、朗読音声、ワークシート等が活用できる。また、道徳的価値とSDGsをつなげることで、「みんなと生きていく力」を育む。情報化への対応教材として各学年1～3教材配置されている。 ・別冊「道徳ノート」は、1教材1ページの構成で使いやすい。また、教材ごとに、本冊「考えてみよう」（中心発問）の記入欄と自由記述欄があり、書くことを通して多面的・多角的に思考を深めることができる。 ・防災教育として、阪神淡路大震災（3、4、5年）と東日本大震災（2、5年、6年2つ）を1つずつ掲載している。また、平和学習として4年「かわいそうなぞう」、5年「母さんの歌」、6年心のベンチ「平和に向けて」がある。 ・本県の教材としては、3年「やさしさのバトン」、4年「お父さんのじまんーいなむらの火祭りー」、6年「エルトゥールル号ー日本とトルコのつながりー」が掲載されている。 ・教科書は、A B判、35教材と3つの補充教材、4年生では本冊188ページと分冊44ページ。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	小学道徳 ゆたかな心	光文書院
答申		
<p>各教材の冒頭に「導入」、末尾に「考えよう」(展開)「まとめよう」(終末)「ひろげよう」(発展)を設置し、1時間の授業の目的や流れを明確に示している。児童の思いや考えが素直に引き出されるよう、「みんなでやってみよう!」「へこんでも立ち直る」といった体験的な活動を取り入れている。児童が経験や生活の中から、「問い」をもって道徳的価値を理解し、実生活へ意欲的に生かそうとできるよう配慮された教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の「重点的な指導を必要とすることがら」について、発達段階に応じて連続的に扱うことでより効果が得られる教材を、重点主題としてユニットにしている。重点主題(各学年3主題)の中でも、「いじめを生まない心」「命をかがやかせる」については、6年間の見通しをもって取り組む工夫がされている。 ・いじめ問題や生命の尊さについての教材数が多い。いじめ防止について、児童がその場面をイメージして、自身の問題として捉えられるような教材を配置している。(目次のハートマーク) ・目次において、「みんなでやってみよう!」「情報モラル」「へこんでも立ち直る」「SDGs」など、教材と組み合わせ活用できる様々なコラムが示されている。 ・全学年、冒頭のオリエンテーションのページとして「ゆたかな心」(道徳の時間は、こんな時間です・いろいろなやり方で考えてみよう・話し合ってみよう・まとめよう、ふりかえろう)が設けられ、道徳の学習内容、学習方法、家庭地域とのつながりが示されている。また、その中で道徳ノートの例も示されている。 ・問題解決的な学習を企図し、教材の冒頭には教材タイトルとともに、「主題」と導入で活用できる「問い」を設定し、目的意識を明確にした上で学習に取り組めるよう工夫されている。また、教材内の登場人物を分かりやすくするために、教材の冒頭に整理して表示されている。 ・各教材には、児童に寄り添うキャラクターを設定し、本文下に共感や気づき、考えるためのポイントや考えを広めるための見方など、様々な問いかけを行えるように配慮されている。 ・教材末には「まとめよう」として、学習した内容を振り返る活動が示されている。また、「ひろげよう」として、学んだことを他教科や学校での活動、家庭生活、地域社会につなげていくポイントや、言語活動との関連もふまえ、教材と関連する本を読む読書活動や考えたことを書いて言語化する活動が示されている。 ・学級や学校生活など、児童が自分のこととして考えやすい教材や長く読み継がれてきた名作など、人間としての生き方に迫ることができる教材が選定されている。また、児童の興味・関心を高め、思考が深まるように、写真やイラストが大きく、引き立つようレイアウトされている。 ・児童一人一人が自らの学習状況を確かめる手立ての一つとして、巻末に自己評価シート「学びの足あと」と児童に贈る言葉「ことばのたからもの」(相田みつをの書)が掲載されている。 ・現代的な課題への対応として、「生命・自然」「いじめ・情報モラル」「人権・共生」「安全・健康」「レジリエンス」を重要テーマとして取り扱い、自分事として考えられる工夫をしている。 ・情報化への対応については、コラムと組み合わせ、各学年1教材を配置している。また、防災教育として、東日本大震災(3、4、5、6年)と熊本地震(6年)が1教材ずつ掲載されている。平和学習は3年「命どうたから」、6年「羽ばたけ、折り鶴」が掲載されている。 ・デジタルコンテンツによる写真や動画が多彩。図版やグラフ等の配色は、誰でも見やすいようカラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ・本県の教材としては、那智勝浦町のシンボルマーク(5年)、濱口梧陵(6年)が紹介されている。 ・教科書は、A B判、35教材と補充教材(1年生6本、2~6年生5本)、4年生では184ページとなっている。 		

令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	新版 みんなの道徳	Gakken
答申		
<p>児童が主体的に課題を発見し、多様な考え方や感じ方に触れながら自己の考えを深めていけるよう、教材の文章と挿絵・写真を中心にすっきりと工夫されている。各学年とも、内容項目の異なる2教材を連続して学ぶ「いのち」「多様性」「キャリア」の三つのユニット教材として組み合わせることで、多様な学びの展開ができる教科書である。全学年「命の教育」を最重点テーマとして、複数教材を連続して学習することで、広い観点で多面的・多角的に深く学ぶことができる構成になっている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・命の教育を最重点テーマとして全学年に位置づけ、多様性を受け入れながら、他者とともによりよく生きることについて考え、いじめを生まない力を育むことができる構成である。「つなぐ」から考える自分の命、みんなの命によって、自分の成長と未来を考える工夫がされている。 ・発達段階や児童の実態に応じて、2学年ごとの重点テーマ（各学年2）を設け、異なる内容項目の複数教材を用いて確かな学びを実現できるよう工夫されている。重点テーマは、マークを使って目次に示している。 ・「生命の尊さ」の他に、全学年に「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」、低学年では「節度、節制」「個性の伸長」を2～3教材、中学年では「友情、信頼」を3教材設けて重点化を図っている。 ・内容項目の異なる2教材を連続して学ぶ「いのち」「多様性」「キャリア」の三つのユニット教材として組み合わせることで、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。学び方のページは、目次に様々なマークの説明とともに示されている。 ・巻頭に道徳の学び方を紹介するページ「道徳の学習が始まるよ」と学びの全体像をつかむページを掲載し、学習方法や学習内容を示し、1年間の見通しをもって学習できるよう児童の学びやすさに配慮している。 ・教材冒頭には、内容項目の視点と教材タイトルを記載している。また、児童の「問い」（問題意識）を大切にするため、本文中に主題名を記載しない構成になっている。 ・各学年の巻頭に「自分のことを書いてみよう」、巻末に「つなげよう 広げよう」を設け、児童が自身の成長を振り返り、課題や目標を見つけることができるようにしている。 ・教材末に、「考えよう」のコーナーを設け、自己を見つめるきっかけとなる投げかけや行為についての考えや理由を問う二つの発問例が示されている。教師にとっては授業構想を柔軟に考えることができ、児童にとっても自ら思考できるよう配慮されている。 ・道徳的価値について多面的・多角的に学べるよう、「深めよう」を教材の随所に取り入れている。 ・各学年とも、自分につなげて考えるために、学び方のページ「心のパスポート」において、役割演技等体験的な活動が図られるよう工夫されている。 ・児童の意欲を高め理解を促すために、印象的な写真を適切に使用している。 ・同じ主人公（明日香と未来）が成長していく連載教材を掲載している。目次に示され、学年が上がるごとに学習がスムーズにつながっていくよう配慮されている。 ・現代的な課題として、SDGsや情報モラルについては児童の発達や成長に合わせた教材を取り上げている。 ・デジタルコンテンツを活用した新しい学びができる。フォントは、大きく見やすい書体（ユニバーサルフォント）を使用している。写真が多く、挿絵と発問がつながっている。 ・防災教育として、阪神淡路大震災（3、4年）と熊本地震（3年）が一つずつ、東日本大震災（5年）が二つ、新潟中越地震（5年）が一つ掲載されている。 ・本県の教材は掲載されていない。 ・教科書は、AB判、35教材、4年生では164ページとなっている。 		